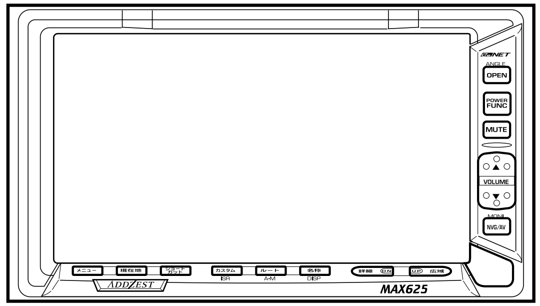
目次page>>>

DSP内蔵CD/MD/ワイド6.5インチ
AVセンターユニット

MAX625

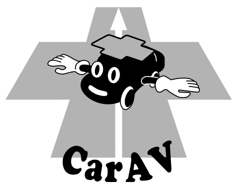
取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書には、本機で操作する外部機器(CDチェンジャー、MDチェンジャー)の操作説明も含まれています。これらの製品の取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。
  また、本機はe-NETマークのついた外部機器のみ操作することができます。

**正しい取付
正しい操作で
安全運転**



目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意や、この取扱説明書で使っている各部の名称などを説明しています。

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能について説明しています。

次ページに続く

目　次

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャー、MDチェンジャー等を接続したときにお楽しみいただける機能について説明しています。

その他

主な特長

■オールインワン
• TVチューナー、CDプレーヤー、MDプレーヤー、TEL-LINKコントロール、40W×4chハイパワーアンプ、AM/FMチューナー、DSP/EQを2DINサイズのボディに内蔵。

■ フロントパネル
• 大型ディスプレイを可能としたスロープコンソール機構。
• 表示部を見やすくできるスロープ角度切換機能。

■ タッチパネル
• 操作性に優れたタッチパネルを採用。

■ラジオチューナー部
• 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能。
• FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能。
• メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能。
• 放送局にタイトルをつけて表示できるタイトル機能。
• タイトルリストから放送局を受信するリスト機能。
• チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能。

■TVチューナー部
• TV1、TV2各6局のプリセットが簡単なオートストア機能。
• メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能。
• 放送局にタイトルをつけて表示できるタイトル機能。
• タイトルリストから放送局を受信するリスト機能。
• チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能。

■CD/MDプレーヤー部
• 全曲の出だし部分を順に演奏するスキャン機能。
• 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能。
• ディスク内の曲を順不同に演奏するランダム機能。
• 本機の電源OFF時にCDを挿入しても、自動的に電源が入り、演奏をはじめるパワーOFFディスク・イン・プレイ機能。
• ディスクタイトルをつけて表示できるタイトル機能。
• CDテキストの表示機能。

■DSP/EQ(イコライザー)部
• きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション。
• 5種類のベーシックパターンから選べる豊かなサウンドフィールド。
• 6種類のベーシックパターンと6種類のユーザーパターン、各種の設定で自由に音質をコントロールできる7バンドグラフィックイコライザー。

■ CD/MDチェンジャーコントロール(別販品接続時)
• 6ディスクまたは12ディスクCDチェンジャーコントロール機能。
• ディスク内の曲の出だし部分を順に演奏するスキャン機能。
• 1台のチェンジャー内で、全ディスクの1曲目の出だし部分を順に演奏するディスクスキャン機能。
• 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能。
• 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能。
• ディスク内の曲を順不同に演奏するランダム機能。
• 1台のチェンジャー内で、全ディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能。
• ディスクにタイトルをつけて表示できるタイトル機能。
• タイトルリストから演奏するタイトルリスト演奏機能。
• CDテキストの表示機能。

■ TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)
• 本機のタッチキー画面から電話番号入力、短縮ダイヤリングやTEL-LINKユニットのリモコン操作に対応したメッセージを表示します。

■ RCA金メッキLINE OUT
• ラインアウト端子(外部アンプ等の接続)は信号劣化や経年変化に強い非磁性金メッキ処理。

■ CeNET(Clarion Entertainment Network;シーイーネット)結線対応
• 外部機器との結線にCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継ボックスが不要となりました。
• CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能。

■ CCD入力端子付
• CCD(バックアイカメラ)と接続できるCCD入力端子付。

■VTR入力端子付
• VTRやビデオカメラとAVコード接続コードでつなげば、モニターテレビとして楽しめます。

■モニターロック機能
• 他社製ナビゲーションの接続が可能です。

■DVDビデオリモコン操作対応(別販品接続時)
• 別販アゼストDVDビデオ再生ハイブリッドナビゲーション接続時に、ナビゲーション側のリモコン操作によりDVDビデオをお楽しみいただけます。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この「取扱説明書」への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	**⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容(左図の場合は指はさまれ注意)が描かれています。**
	**⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。**
	**❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

安全上のご注意

- **安全のため、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
- **お読みになったあとは、いつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。**

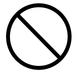
安全上のご注意

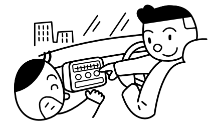
■使用上のご注意

⚠警 告

●走行中は運転者による操作をしない･･･

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車させないと、一部の操作ができないようになっています。





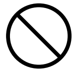
●本機にセキュリティカメラを接続して使用する場合には、障害物などの確認のための補助手段として使用する・・・

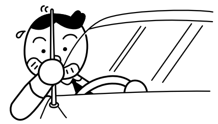
前進あるいは後退するときは直接前方あるいは後方を確認しながら運転してください。



●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない・・・

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。





●運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる・・・

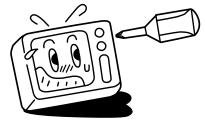
本機は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車しないと、映像を見ることができないようになっています。



●本機を分解したり、改造しない・・・

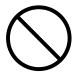
事故や火災、感電の原因となります。





●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店また最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。





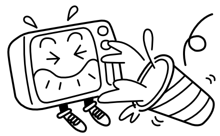
安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠警 告

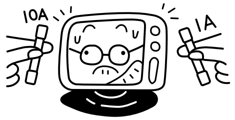
●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社修理相談窓口に相談する・・・

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



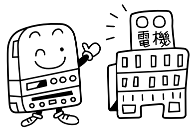
●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



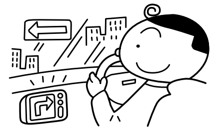
●本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・

専門技術と経験が必要です。



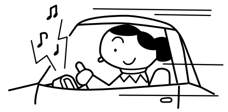
⚠注 意

●ナビゲーションによる経路誘導・音声案内時は、実際の交通規則にしたがって走行する・・・



●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

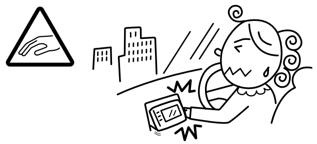


●モニターのオープン/クローズが、シフトレバー操作の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行う・・・



安全上のご注意

⚠注 意



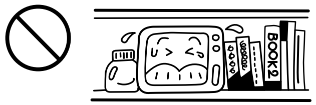
●**オペレーションパネル開閉時または角度を切り換えるときは、機構部に手や指を近づけない・・・**
挟まれて、ケガの原因となることがあります。



●**CDやMDのディスク挿入口に手や指を入れない・・・**
ケガの原因となることがあります。



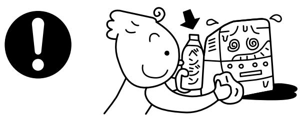
●**CDやMDのディスク挿入口に異物を入れない・・・**
火災や感電の原因となることがあります。



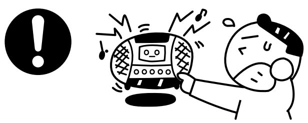
●**本機を車載用以外には使用しない・・・**
感電やケガの原因となることがあります。



●**アンテナの折れ曲がった状態で使用しない・・・**
歩行者などに接触して、ケガの原因となることがあります。



●**樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・**
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



●**電源を切るときは、音量を最小にする・・・**
電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

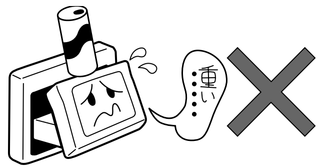
オペレーションパネルについて

⚠注意

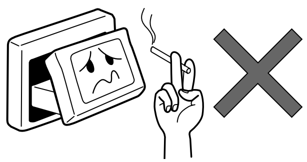
オペレーションパネルの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

●**電源をOFFにするときは、安全のためオペレーションパネルを閉じた状態にしてください。**
●**CDまたはMDをイジェクトしたときは、必ず取り出してからオペレーションパネルを閉じてください。**
（CDまたはMDを取り出してから一定の時間が過ぎると、オペレーションパネルは、ビープ音を鳴らしてから自動的に閉じるかまたは角度調整した状態に戻ります。）
●オペレーションパネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。
●操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
●オペレーションパネルをフルオープンにした状態で一定の時間が過ぎると、自動的に閉じるかまたは角度調整した状態に戻るように設定されています。このとき、指や異物などを挟まないように注意してください。
●オペレーションパネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。オペレーションパネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。

●オペレーションパネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、オペレーションパネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。



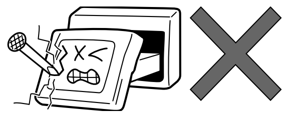
●オペレーションパネルに、たばこの火などを触れないようにしてください。キャビネットやパネルが変質、変形することがあります。



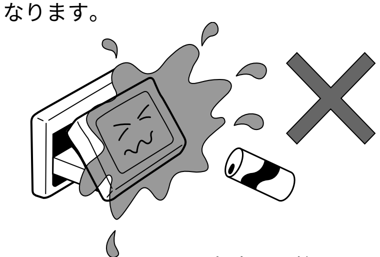
●非常に寒い時は、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●オペレーションパネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。

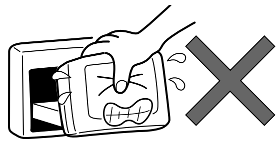
●オペレーションパネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。



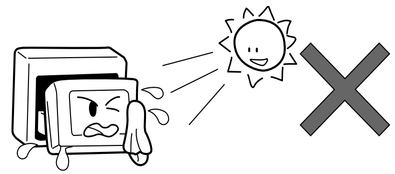
●お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。



●オペレーションパネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。



●夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。液晶パネルが正しく動作する温度は0 °～60 °です。



取扱上のご注意

CD/MDプレーヤー部について

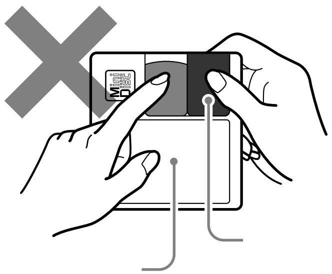
●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用するとCDやMD、光学部品が曇って、正常に動作しないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また、MDや光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常に動作します。
●本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油することは、やめてください。
●CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
●CDやMDをイジェクトしたまま走行しないでください。走行中の振動により、CDやMDが落下する恐れがあります。

MDについて

マークのついたMDをご使用ください。

■取り扱い上のご注意

●MDのシャッターを手で開けないでください。



●ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。
そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■保管時のご注意

●直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

■お手入れ

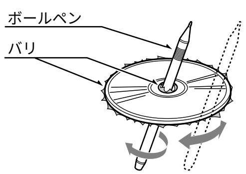
●カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

●マークまたはマークのついたCDをご使用ください。また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
●CD-Rで記録されたCDディスクは、使用できない場合があります。
●CD-Rを作成するソフトによっては、CDテキストが表示できない場合があります。
●「EXTRA CD」は再生できない場合があります。
●CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。

■取り扱い上のご注意

●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンで文字などを記入しないでください。
●CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
●ディスク面には、傷や指紋をつけないように扱ってください。
●新しいCDには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるCDは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリの多い場所
●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときは、やわらかい布で、ディスクの内側から外側に向かって、よくふいてください。
●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどは、使用しないでください。
●CD専用クリーナーを使用した場合は、よく乾燥させてからお使いください。

エラー表示について

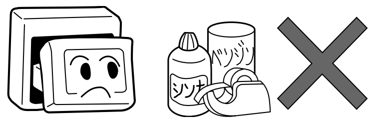
本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときは、「エラー表示について」の項目（72ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

本体の取扱いについて

●システムの動作中に、ケーブルの抜き差しは絶対におやめください。故障の原因となります。必ず車両アクセサリー電源を切ってから行ってください。
●バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、もう一度設定し直してください。

本体のお手入れについて

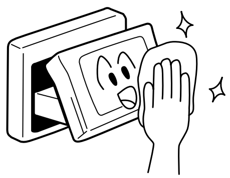
●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



参　考

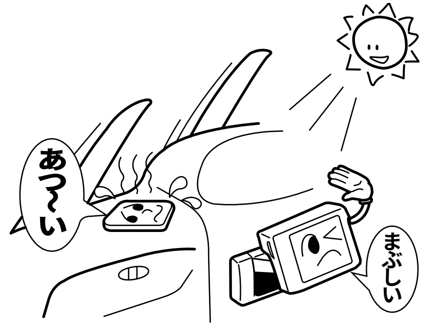
ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

●液晶表示部のお手入れ
ホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。

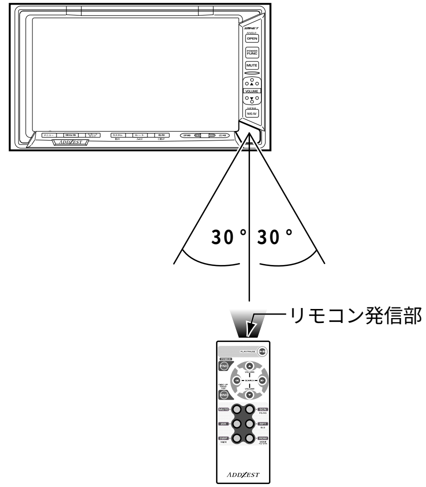


別販リモコン(RCB-158)について

●リモコン受信部に直射日光があたっていると、リモコンで操作できないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎってから操作してください。
●リモコンを、高温になる場所に放置しないでください。故障や変形の原因となります。



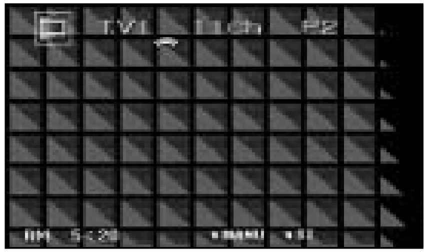
●リモコンの到着距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。
●リモコンの発信部は、上下左右30°の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。



取扱上のご注意

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、テレビの映像が表示されるのは、停車中(パーキングブレーキを引いているとき)だけです。テレビをご覧になるときは、必ず、車を停車させてお楽しみください。走行中は図のような画面が表示され、音声のみを聴くことができます。背景画面は、「ディスプレイ表示を切り換える」(31ページ)で設定したパターンを表示します。



(走行中の画面)

ご注意

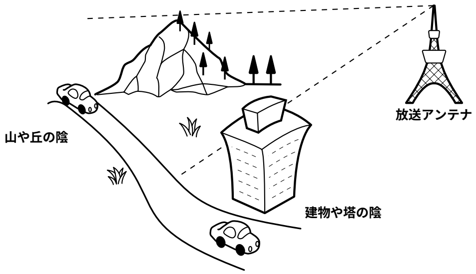
パーキングブレーキを解除すると、約5秒間「AUDIO ONLY」画面になります。

テレビ放送の受信について

●テレビ放送を受信する場合、家庭用のテレビアンテナは最適な向きに固定できますが、車は移動するため、建物や山などの障害物に影響されて、電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。

●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。また、UHF放送局や地方局は、放送電波の出力が小さいため、数kmの移動で受信状態が悪くなることがあります。

●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。



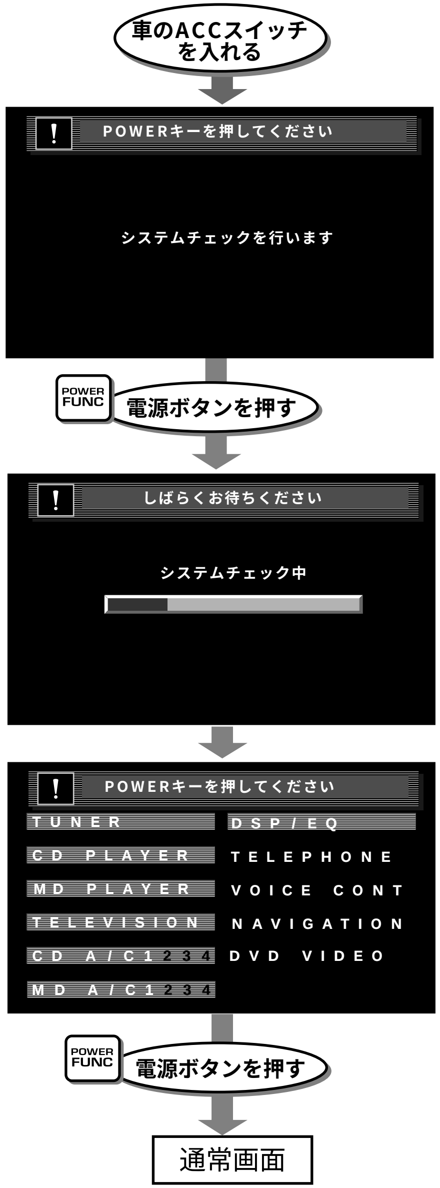
ワイド画面について

●ワイドテレビは、各種画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。オペレーションパネルのシステムチェック画面は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常画面に戻してください。

- **本機の取付け直後に電源を入れたとき**
- **外部機器を接続または取り外したとき**
- **バッテリー交換等で電源が切れたとき**
- **リセットボタンを押したとき**
- **ナビゲーションのメニューから(別販CD-ROM/DVD-ROMナビゲーションを接続している場合)「機能」→「情報表示」→「接続チェック」を押したとき**
- **各モードの「SUB」→「ADJUST」→「SYSTEM CHECK」を押したとき**



外部機器の接続表示について

システムチェック後、接続している機器名を枠囲い表示(TUNER)します。

各部の名称とはたらき

本体部

メニュー

メニューボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は、メインメニューを表示します。(安全のため、走行中は操作できません。)

現在地

現在地ボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は、メニュー画面表示中に押すと地図画面を表示します。また、スクロール中の地図画面で押すと、地図上の現在地を表示します。

ショートカット

ショートカットボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は、目的地の設定や解除など、状況に応じたメニューを開けます。

カスタム
ISR

ISRボタン
•現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します(ISR機能)。また、ラジオモード時に押し続ける(約2秒間)とISRの書き込みができます。

カスタムボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は「VICS情報呼び出し」など、よく使う機能のうちの1つを、このボタンで呼び出すことができます。

ルート
A-M

オーディオモード(A-M)ボタン
•音質調整及びスピーカーの音量バランス調整に使います。

ルートボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は、ルート誘導中、渋滞でコースを迂回したときや、中継点設定していない場所に寄り道したときに、ルートを再計算できます。また、複数のルートからお好みのルートを選べます。

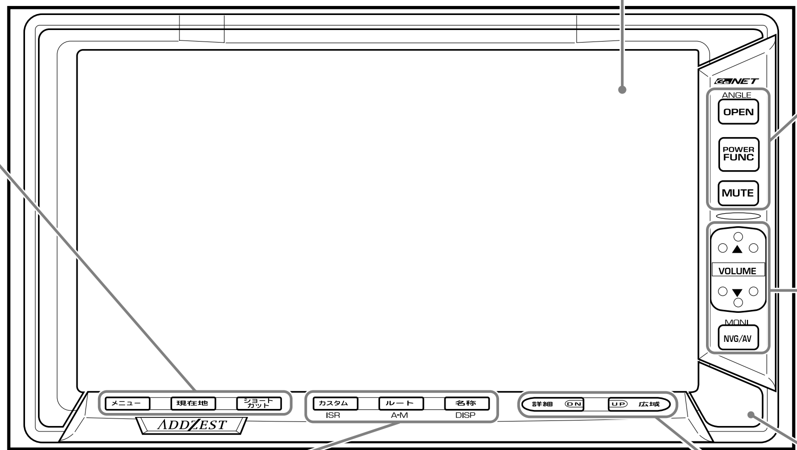
名称
DISP

ディスプレイ(DISP)ボタン
•ビジュアルセレクト(モーション画面6パターン、リズムアクト画面6種類)画面へ切り換えます。
•TV/VTR/DVDビデオモード時、パーキングブレーキを引いているときに押すと、画面サイズを切り換えます。
•CDモード、CDチェンジャーモードでは、押し続ける(約1秒間)と、ユーザータイトルとCDテキストの表示が切り換わります。(CDチェンジャー時はCDテキスト機能ありの場合のみ)

名称ボタン(＊)
•ナビゲーションモード時は、ランドマーク、道路などの名称が換わります。

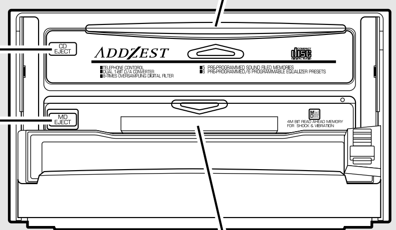
＊のボタンはCeNET結線対応のナビゲーションを接続したときに使用できる機能です。

ディスプレイ部
テレビ画面及び各種モードの状態ナビゲーション画面等を表示します。



リモコン受光部

●オペレーションパネルを開いた状態



CD挿入口

CDイジェクト(CD EJECT)ボタン

MDイジェクト(MD EJECT)ボタン

MD挿入口

ANGLE OPEN

オープン(OPEN)/スロープ角度調整(ANGLE)ボタン
•オペレーションパネルが開き、CDやMDの出し入れができます。また、押し続けて、オペレーションパネルの角度を調整します。

POWER FUNC

電源(POWER)/ファンクション(FUNC)ボタン
•オーディオ・テレビの電源を入れ、各モードを切り換えます。また、押し続ける(約1秒間)とオーディオ・テレビの電源が切れます。
•ナビゲーション画面時に押すと、オーディオ・テレビ画面を約5秒間表示して、元の画面に戻ります。

MUTE

ミュート(MUTE)ボタン
•どのモードでも、消音します。
経路誘導等ナビゲーションの音声は消音しません。

VOLUME

音量アップボタン(▲)
•音量アップ調整に使います。

音量ダウンボタン(▼)
•音量ダウン調整に使います。

MONI NVG/AV

NAVI/AV切換ボタン
•ナビゲーションモードとオーディオ・テレビモードの切り換えに使います。
ナビゲーションが接続されていないときには、黒画面を表示します。
•押し続ける(約1秒間)とモニターが消えます。再度、押すとモニター画面を表示します。

UP 広域

アップボタン
•CDまたはMDの曲(トラック)選曲、早送りやラジオ、テレビの選局に使います。

広域ボタン(＊)
•ナビゲーションモードでは広域画面になります。

詳細 DN

ダウンボタン
•CDまたはMDの曲(トラック)選曲、早戻しやラジオ、テレビの選局に使います。

詳細ボタン(＊)
•ナビゲーションモードでは詳細画面になります。

本機の操作

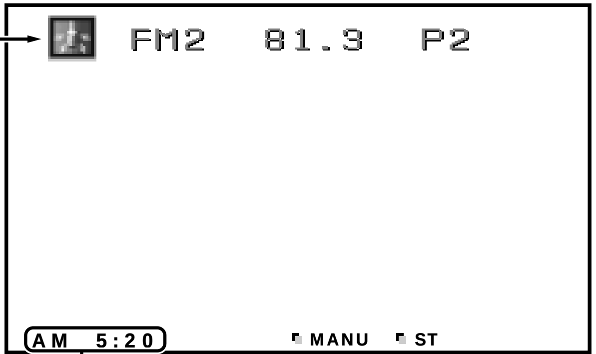
▌各部の名称とはたらき

モード別メニュー画面

■各モード共通の表示

本書では、説明画面を見やすくするため、背景表示を省略し、表示される文字の書体を一部変更して表示しています。

（メイン画面）

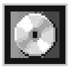


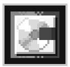
時計表示
午前・午後をAM・PMで表示します。

画面に触れると、次ページのメニュー画面を約5秒間表示します。

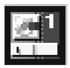
モードアイコン表示

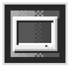
 ：ラジオモード

 ：CDモード

 ：MDモード

 ：CDチェンジャーモード

 ：MDチェンジャーモード

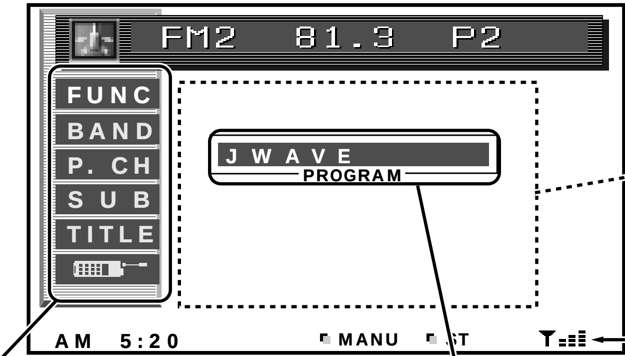
 ：TVモード

 ：AUXモード

 ：DVDビデオモード

 ：VTRモード

（メニュー画面）

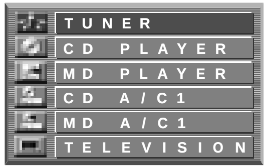


リズムアクト表示部
詳しくは、31ページをご覧ください。

電話受信レベル
(携帯電話接続時に表示)

タッチキー表示

FUNC ：モードキーを表示します。



BAND ：モードに対応したキーを表示します。

P. CH ：モードに対応したキーを表示します。

SUB ：モードに対応したキーを表示します。



アジャストキー
各種設定キーを表示します。

TITLE ：ラジオ/TV/CDモード時はタイトル入力キー、CDテキスト/MD演奏時にはタイトルスクロールキーになります。

 ：電話モードに切り換えます。

音量調整表示
音量アップ/ダウンボタンを押して音量調整すると、音量調整レベルを以下のように表示します。

VOL 2 0

■サブメニュー表示から元の画面に戻すには…

サブメニューを表示させたときと同じタッチキーに触れてください。

最初のメニュー画面に戻り、その画面を約5秒間表示した後、メイン画面になります。

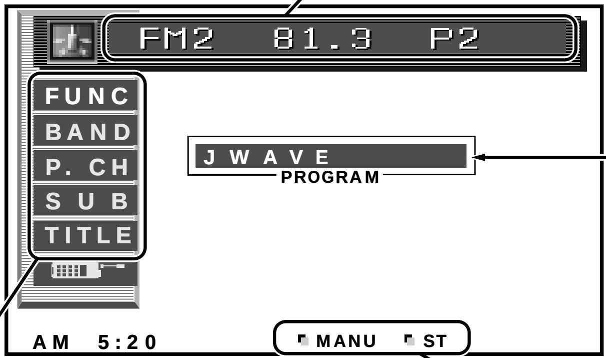
本機の操作

各部の名称とはたらき

モード別メニュー画面

■ラジオモード時

受信バンド・周波数・
プリセットチャンネル表示



タイトル表示

MANU:
MANUが表示されているときは手動選局、表示されていないときには、自動選局となります。

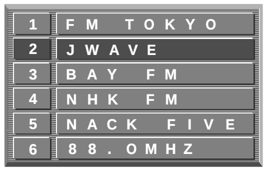
S T:
FMステレオ受信時に表示します。

タッチキー表示

FUNC：モードキーを表示します。

BAND：受信バンドを切り換えます。
押し続ける(約1秒間)と、手動選局/自動選局を切り換えます。

P. CH：プリセットチャンネルキーを表示します。



S U B：オートストア/プリセットスキャンキーを表示します。



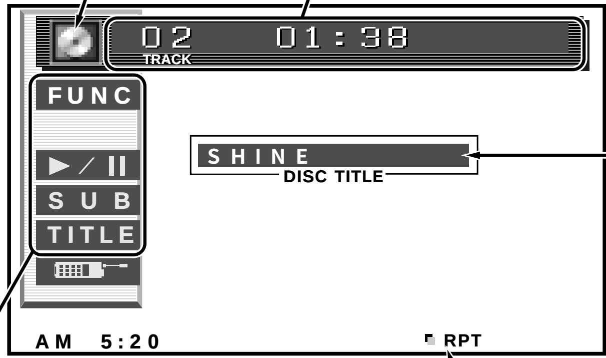
←オートストアキー
←プリセットスキャンキー

TITLE：タイトル入力に切り換えます。
「チューナーエリアを設定する」(36ページ)でユーザータイトルを選択してください。

■CD/MDモード時

MDモード時は  を表示

演奏トラック/演奏時間表示



タイトル表示

RPT：
選択した演奏機能名を表示します。
- **SCN**：スキャン演奏時に表示
- **RPT**：リピート演奏時に表示
- **RDM**：ランダム演奏時に表示

タッチキー表示

FUNC：モードキーを表示します。

▶／II：演奏を一時停止(PAUSE)します。

S U B：スキャン等の演奏キーを表示します。表示されたキーに触れて演奏モードを選択します。



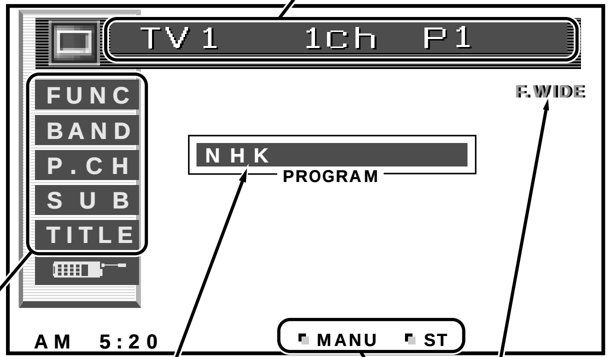
←スキャン演奏キー
←リピート演奏キー
←ランダム演奏キー

TITLE：CDモード時にタイトル入力に切り換えます。
CDテキスト演奏時とMDモード時には、ディスクタイトルスクロールとトラックタイトルスクロールを切り換えます。(詳しくは、48ページをご覧ください。)

各部の名称とはたらき

モード別メニュー画面

■TVモード時



受信バンド/チャンネル/プリセット番号表示

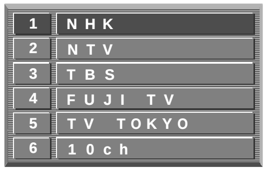
タイトル表示

タッチキー表示

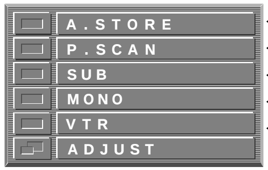
FUNC：モードキーを表示します。

BAND：受信バンドを切り換えます。押し続ける(約1秒間)と、手動選局/自動選局を切り換えます。

P.CH：プリセットチャンネルキーを表示します。



SUB：選局・受信モード等のキーを表示します。



←オートストアキー
←プリセットスキャンキー
←副音声キー
←ステレオ/モノラルキー
←VTRキー

TITLE：タイトル入力に切り換えます。
「テレビエリアを設定する」(37ページ)でユーザータイトルを選択してください。

- **F.WIDE:**
  画面モードを表示します。

  フルワイド(F.WIDE)
  ↓
  シネマ(CINEMA)
  ↓
  ノーマル(NORMAL)
  ↓
  ワイド(WIDE)

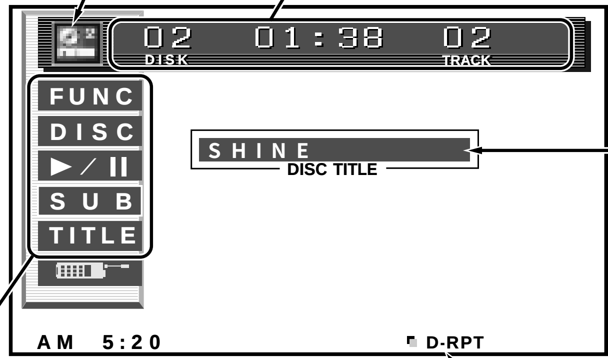
- **MANU:**
  MANUが表示されているときは手動選局、表示されていないときには、自動選局となります。
- **ST:**
  二カ国語放送受信時にMAIN(主音声)またはSUB(副音声)を表示します。ステレオ受信時にはSTを表示します。

テレビメニュー画面について
パーキングブレーキを引いて停車中のTVメニュー表示は、約5秒間で消えます。再度表示させたいときは、画面に触れてください。

■CD/MDチェンジャーモード時(別販CD/MDチェンジャー接続時)

MDチェンジャーモード時は、を表示

ディスク/演奏時間/トラック表示



タイトル表示

D-RPT
選択した演奏機能名を表示します。
- **SCN**：スキャン演奏時に表示
- **RPT**：リピート演奏時に表示
- **RDM**：ランダム演奏時に表示
- **D-SCN**：ディスクスキャン演奏時に表示
- **D-RPT**：ディスクリピート演奏時に表示
- **D-RDM**：ディスクランダム演奏時に表示

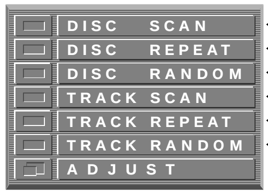
タッチキー表示

FUNC：モードキーを表示します。

DISC：ディスク選択キーを表示します。

▶／II：演奏を一時停止(PAUSE)します。

SUB：スキャン等の演奏キーを表示します。表示されたキーに触れて演奏モードを選択します。



←ディスクスキャン演奏キー
←ディスクリピート演奏キー
←ディスクランダム演奏キー
←スキャン演奏キー
←リピート演奏キー
←ランダム演奏キー

TITLE…：CDチェンジャーモード時にタイトル入力に切り換えます。
CDテキスト演奏時とMDチェンジャーモード時には、ディスクタイトルスクロールとトラックタイトルスクロールを切り換えます。(詳しくは、48ページをご覧ください。)

本機の操作

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-158)の使いかた

モードを選ぶ
ファンクションボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー)
TV ←(MDチェンジャー) ←
●押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する
▲▼ (ボリューム)ボタン

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える
バンドボタン

●最初の曲から演奏します。(CD/MDモード時)
●受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する
バンドボタン

●次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

音を消す
ミュートボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

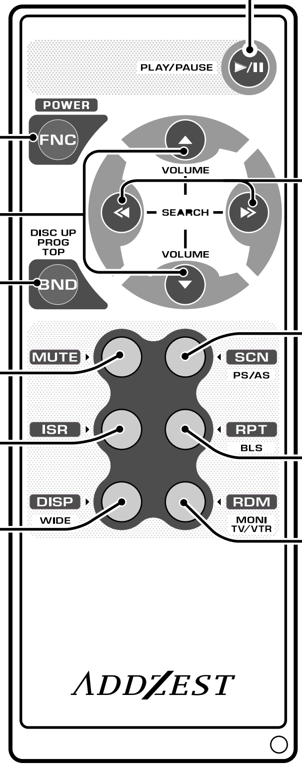
ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
●元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

表示を切り換える
ディスプレイボタン

●ビジュアルセレクト画面に切り換えます。(ラジオモード、CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード、走行中のTV/VTR/DVDビデオモード時)
●パーキングブレーキを引いて停止中のTV/VTR/DVDビデオモード時に押すと、次のように画面サイズを切り換えます。

F.WIDE (フルワイド) → CINEMA (シネマ) → NORMAL (ノーマル) → WIDE (ワイド) →



演奏する
▶/II (プレイ・ポーズ)ボタン

●演奏と一時停止をします。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する
⏪ ⏩ サーチボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TVモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする
スキャンボタン

●スキャン演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
●プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
●また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
●解除するときは,もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する
リピートボタン

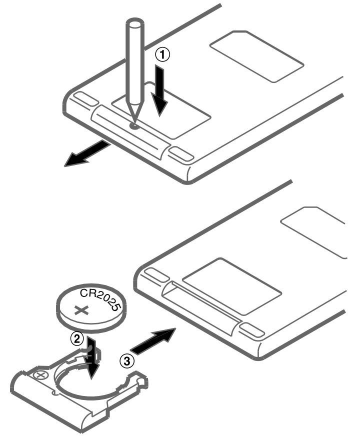
●繰り返し演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)
●解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える
ランダムボタン

●ランダム演奏します。
(CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
●TVモード時にTVをVTRに切り換えます。
●解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

①リモコンを裏返して、先のとがった物でふたを矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
②電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠警告

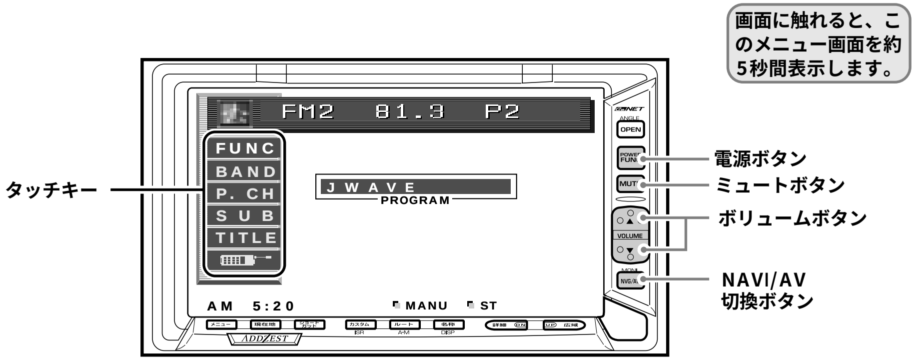
事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- **指定電池以外は使用しない。**
- **電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。**
- **電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。**
- **使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。**

本機の操作

基本の操作



電源を入れる

1 **電源ボタン(POWER FUNC)を押す**

→ 前回の操作終了時のモードになります。

ご注意

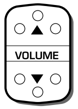
バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。

■電源を切るには…

電源ボタンを押し続け(約1秒間)てください。

音量を調整する

1 **ボリュームボタンを押す**



大きくなります

小さくなります

→ ディスプレイに音量レベルを表示します。



⚠注意

運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

オーディオ・テレビ画面にする(前回終了時ナビゲーションモードの場合)

1 **NAVI/AV切換ボタン(MONI NVG/AV)を押す**

→ ナビゲーション接続時に、ナビゲーションモードとオーディオ・テレビモードに切り換わります。

- 押し続ける(約1秒間)とモニター画面が消えます。オープンボタン以外のボタンを押すか、またはモニター画面に触れると、モニター画面を表示します。
- ナビゲーションの映像が入力されていないときは、黒画面表示になります。

消音(ミュート)する

1 **ミュートボタン(MUTE)を押す**

→ ボタン機能表示部に「**MUTE**」を点滅表示します。

■通常の音量に戻すには…

もう一度ミュートボタンを押してください。

オペレーションパネルの角度を調整する

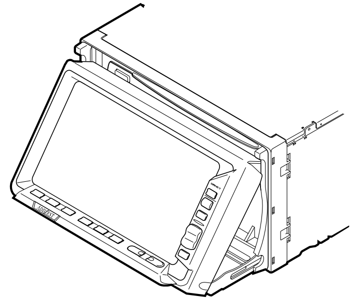
オペレーションパネルの角度調整について…

画面の表示が見にくいときに、オペレーションパネルの角度を変えて見やすくできます。
- 角度調整は、0〜約30度の範囲です。
- 調整した角度はメモリーされます。

1 **オープンボタン(ANGLE OPEN)を押し続ける(約1秒間)**

→ 指を離したところで止まります。

- オープンボタンを押すと、フルオープン(CDとMDを取り出せる状態)となります。



ご注意

本機を使用しないときは安全のため、オペレーションパネルを閉じてください。また、オペレーションパネル側面のメカニズム部に触れると、指や服が汚れますのでご注意ください。

■オペレーションパネルのメモリー角度を解除するには

オープンボタン(ANGLE OPEN)を押し続けてパネル角度を約30度にした後、もう一度オープンボタンを押し続けてください。

■オペレーションパネルを収納するには

オペレーションパネルのメモリー角度を一旦解除して収納してください。

モードを選ぶ

1 **ファンクションボタン(POWER FUNC)を押す**

→ ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

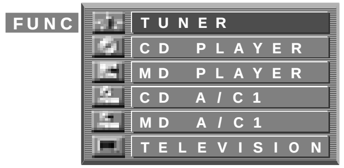
ラジオ → CD → MD →(CDチェンジャー)
↑ TV/VTR ← (MDチェンジャー) ←

■メニュー画面を表示するには…

画面に触れてください。
選択したモードに対応したメニュー画面を表示します。

■タッチキーでモードを選ぶには…

FUNC キーに触れてサブメニューを表示し、サブメニューの各モードキーに触れてください。



TUNER　：ラジオモード
CD PLAYER：CDモード
MD PLAYER：MDモード
CD A/C1　：CDチェンジャーモード
(CDチェンジャー接続時に表示)
MD A/C1　：MDチェンジャーモード
(MDチェンジャー接続時に表示)
TELEVISION：TV/VTRモード

※メイン画面に戻すには、FUNC キーに触れてください。
最初のメニュー画面を約5秒間表示した後、メイン画面に戻ります。

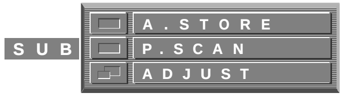
基本の操作

時刻を合わせる

※CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから供給されるため、時刻を合わせる必要がありません。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れる**

→ サブメニューが表示されます。

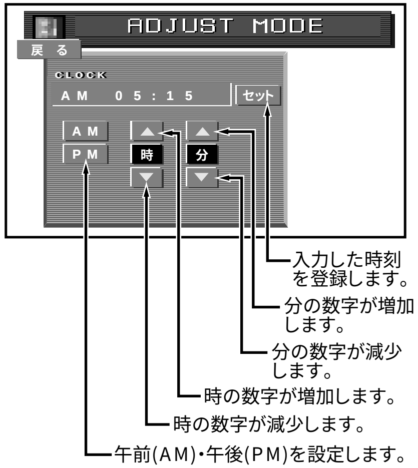


(ラジオモード時のサブメニュー)

2 **サブメニューの ADJUST キーに触れて、アジャスト画面を表示する**

3 **アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、CLOCK キーに触れる**

→時刻設定画面が表示されます。



4 **調整キーに触れて時刻を設定する**

5 **セット キーに触れて、設定時刻を登録する**

6 **戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れてメイン画面に戻る**

画面サイズを切り換える

この機能は、パーキングブレーキを引いて停車中のみ操作できます。

1 **メニュー画面の FUNC キーに触れてサブメニューを表示し、TELEVISION キーに触れる**

または、ファンクションボタン(POWER FUNC)を押す

2 **ディスプレイボタン(名称 DISP)を押す**

→ ディスプレイボタンを押すたびに、次のように画面サイズが切り換わります。

F・WIDE (フルワイド) → CINEMA (シネマ) → NORMAL (ノーマル) → WIDE (ワイド) →(F・WIDEへ戻る)

- タッチキー等のメニュー表示はフルワイドモードになります。
- メニュー表示中にディスプレイボタンを押したときは、画面サイズの表示のみが切り換わり、メニュー画面が消えた後に画面サイズが切り換わります。
- メニュー画面が消えているときに、ディスプレイボタンを押すと、画面サイズが切り換わります。その時、画面サイズの表示は行いません。

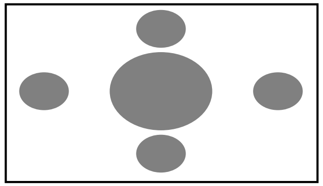
(参考)

ワイド画面でない通常の4：3の映像をワイドモードあるいはフルワイドモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

■通常の4：3映像の場合

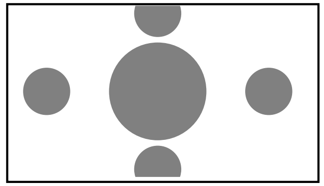
設定モードにより以下のように変形して見えます。

●フルワイドモード



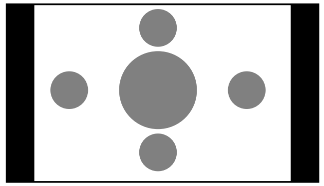
画像全体が横方向に広がります。

●シネマモード



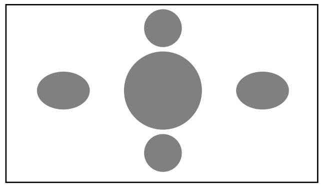
画面上下の映像が見えなくなります。

●ノーマルモード（通常画面）



画面の左右が黒画面となります。

●ワイドモード



画面左右の映像が横に広がります。

ディスプレイ表示を切り換える

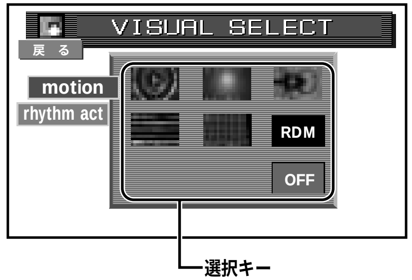
ディスプレイ表示について…

ディスプレイ表示は、リズムアクト(全6種類)にモーション(全6種類)を重ね合わせることで、全36種類のディスプレイ表示をお楽しみいただけます。

- **モーション(motion):**
  背景画面をグラフィカルに表示します。
- **リズムアクト(rhythm act):**
  音に連動してパターンが変化します。

1 **ディスプレイボタン(名称 DISP)を押す**

→ ビジュアルセレクト(**VISUAL SELECT**)のモーション(**MOTION**)画面になります。詳しくは、次ページをご覧ください。



2 **モーション画面の選択キーに触れて、または触れ続けて(約1秒間)、パターンを選ぶ**

- 選択キーに触れて選択したときは、動画表示になります。
- 触れ続け(約1秒間)て選択したときには、静止画表示になります。ただし、RDMキーとOFFキーは選択できません。

3 **モーション画面の rhythm act キーに触れて、リズムアクト画面にする**

→詳しくは、次ページをご覧ください。

4 **リズムアクト画面の選択キーに触れて、パターンを選ぶ**

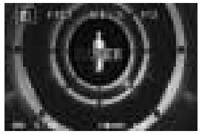
- ＴＶモード/VTRモード/DVDモード時にパーキングブレーキを引いて停車しているときは、ディスプレイ表示を切り換えられません。

5 **戻る キーに触れて、メイン画面に戻る**

基本の操作

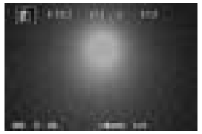
■モーション(motion)画面

●パターン1

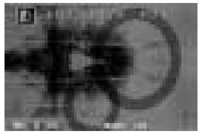


(選択したモード名とキャラクターを表示)

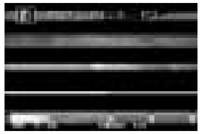
●パターン2



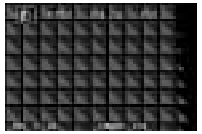
●パターン3



●パターン4



●パターン5



●パターン6

RDM

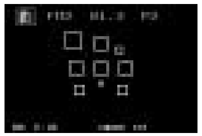
(パターン1～5をランダムに表示)

●OFF(ADDZEST)

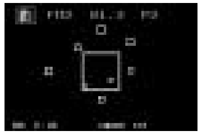


■リズムアクト(rhythm act)画面

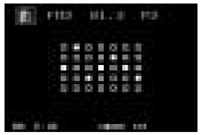
●パターン1



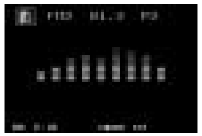
●パターン2



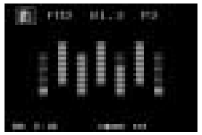
●パターン3



●パターン4



●パターン5



●パターン6

RDM

(パターン1～5をランダムに表示)

●OFF

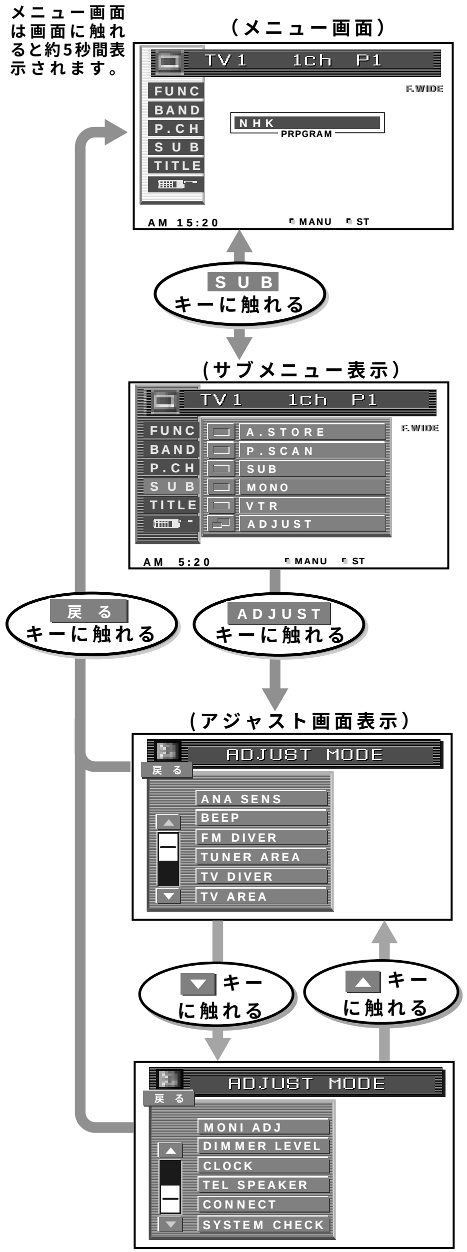
OFF

(表示しません。)

ご注意 **上記の画面表示はカラー画像を白黒化しているため、実際の画面と異なる部分があります。ご使用の際は実際の画面表示をご覧のうえ、選択してください。**

設定を変更する(アジャストモード)

環境設定の画面を選ぶ



■設定項目一覧

アジャスト画面では、次の機能について設定することができます。

●スペアナの感度を切り換える(ANA SENS)

●操作時のビープ音を設定する(BEEP)

●FMダイバーシティを設定する(FM DIVER)

FM設定時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

●チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

●TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

●テレビエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。

●画面の明るさ・色あい・カラー(色の濃さ)を設定する(MONI ADJ)

TV/VTR/DVDビデオモードにおいて映像表示中(停車中)にのみ設定できます。上記以外の時は画面の明るさのみ設定ができます。

●ディスプレイ表示の明るさを調整する(DIMMER LEVEL)

車のイルミネーション点灯時/非点灯時にそれぞれ独立して明るさの設定を行います。
夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明が減光されます。

●時計表示設定(CLOCK)

この機能の操作については、30ページをご覧ください。

●電話の割り込み設定をする(TEL SPEAKER)

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

●映像入力を設定をする(CONNECT)

RGBナビゲーション(CeNET結線以外のアゼストナビゲーション)あるいはコンポジットナビゲーション(他社製のナビゲーション)を接続する場合に選択します。

●システム確認を行う(SYSTEM CHECK)

設定を変更する(アジャストモード)

スペアナの感度を切り換える (ANA SENS)

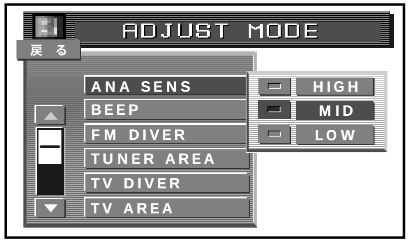
※初期設定は＜MID＞です。

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 ANA SENS キーに触れる

→ ANA SENS キーの右側に設定キーを表示します。



3 HIGH 、MID 、LOW キーに触れて感度を設定する

HIGH :感度が高くなります。
MID :中間の感度です。
LOW :感度が低くなります。

4 戻る キーに触れて、メイン画面に戻る

操作時のビープ音を設定する (BEEP)

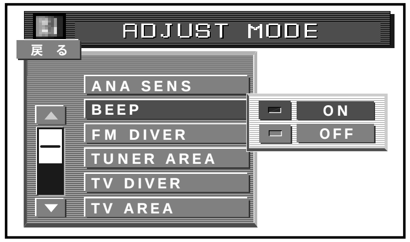
※初期設定は＜ON＞です。

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 BEEP キーに触れる

→ BEEP キーの右側に設定キーを表示します。



3 ON または OFF キーに触れて設定する

ON :操作音を鳴らす。
OFF :操作音を鳴らさない。

4 戻る キーに触れて、メイン画面に戻る

※ビープ音の設定をOFFにしてもオペレーションパネルが自動収納するときは、警告音が鳴ります。

FMダイバーシティを設定する (FM DIVER)

FMダイバーシティについて…

FM放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

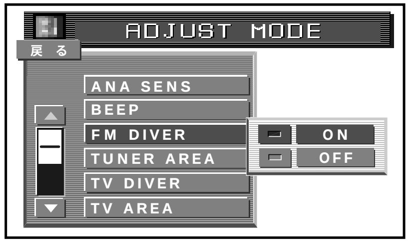
※初期設定は＜ON＞です。

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 FM DIVER キーに触れる

→ FM DIVER キーの右側に設定キーを表示します。



3 ON または OFF キーに触れて設定する

ON :FMダイバーを使用する。
OFF :FMダイバーを使用しない。
(アンテナを1本のみ接続する場合は「OFF」に設定してください。)

4 戻る キーに触れて、メイン画面に戻る

TVダイバーシティを設定する (TV DIVER)

TVダイバーシティについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

※初期設定は＜ON＞です。

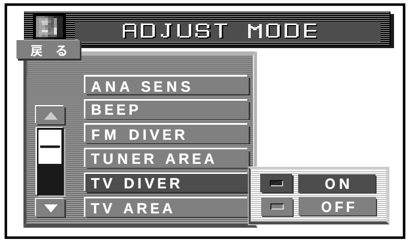
- 本機は、4系統ダイバーシティを内蔵しています。
- 接続するアンテナが4本未満の場合は、所定のアンテナジャックに接続してください。設定を間違えるとノイズの原因となります。

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 TV DIVER キーに触れる

→ TV DIVER キーの右側に設定キーを表示します。



3 ON または OFF キーに触れて設定する

ON :テレビダイバーを使用する。
OFF :テレビダイバーを使用しない。
(TVアンテナを1本のみTVメインアンテナ端子に接続する場合は「OFF」に設定してください。詳しくは、取付説明書をご覧ください。)

4 戻る キーに触れて、メイン画面に戻る

設定を変更する(アジャストモード)

チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて…

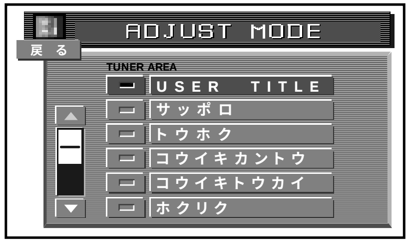
チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は「コウイキ　カントウ」(広域 関東)です。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる**

→ アジャスト画面が表示されます。

2 **TUNER AREA キーに触れて、エリア設定画面を表示する**



- ▲または▼キーに触れると地域名表示がスクロールします。

3 **地域名表示に触れて、地域を選択する**

コウイキカントウ

- 選択すると地域名表示の色が変わります。

4 **戻る キーに触れアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れる**

→ メイン画面に戻ります。

イージーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリーされていればユーザーメモリーへ登録されます。

表示	地区
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(タイトル入力)」(60ページ)をご覧ください。

テレビエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて…

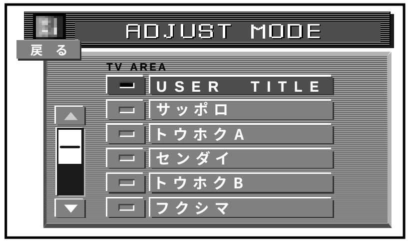
テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は「カントウ」(関東)です。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる**

→ アジャスト画面が表示されます。

2 **TV AREA キーに触れて、エリア設定画面を表示する**



- ▲または▼キーに触れると地域名表示がスクロールします。

3 **地域名表示に触れて、地域を選択する**

センダイ

- 選択すると地域名表示の色がかわります。

4 **戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れる**

→ メイン画面に戻ります。

イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリされていればユーザーメモリに登録されます。

表示	地区
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(タイトル入力)」(60ページ)をご覧ください。

画面の明るさ・色あい・色の濃さを設定する (MONI ADJ)

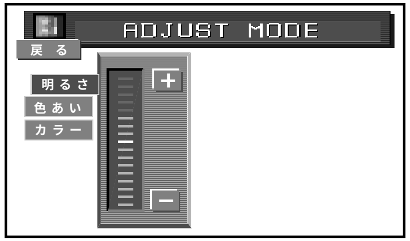
TV/VTR/DVDビデオモードにおいて停車してパーキングブレーキを引いたときにのみ設定できます。その他の時はBRIGHTのみ設定できます。
※初期設定は＜中間＞です。

1 **TELEVISION キーに触れる**

2 **メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる**

→アジャスト画面が表示されます。

3 **アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、MONI ADJ キーに触れる**



• 走行中は明るさ調整画面を表示します。

4 **明るさ キー(色あい または カラー キー)に触れて設定画面を表示する**

5 **▲ または ▼ キーに触れて調整する**

調整項目	▼	▲
明るさ	暗くなる	明るくなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
カラー	薄くなる	濃くなる

※続けて色合い、カラーを設定する場合は 色あい 、カラー キーに触れます。

6 **戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れる**

→ メイン画面に戻ります。

ディスプレイ表示の明るさを調整する (DIMMER LEVEL)

ディマー機能について…

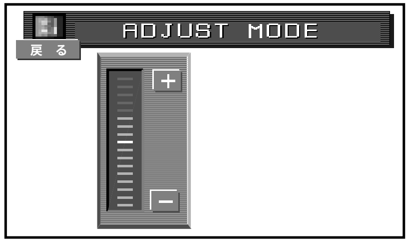
夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明を減光することができます。

※初期設定は、
ライト消灯時：一番明るい設定
ライト点灯時：中間の明るさ

1 **メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる**

→ アジャスト画面が表示されます。

2 **アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、DIMMER LEVEL キーに触れる**



3 **▲ または ▼ キーに触れて、画面の明るさを調整する**

▲：明るくなります。

▼：暗くなります。

4 **戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れる**

→ メイン画面に戻ります。

電話の割り込みを設定する (TEL SPEAKER)

電話割り込み機能について…

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。
また、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

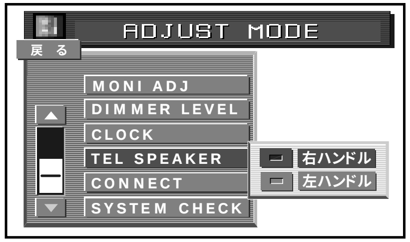
※初期設定は＜右ハンドル＞です。左ハンドル車でご使用の場合には、必ず＜左ハンドル車＞に切り換えてください。初期設定のまま使用しますと、ハウリングを起こすことがあります。

別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続しないと、電話割り込みの設定はできません。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる**

→ アジャスト画面が表示されます。

2 **アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、TEL SPEAKER キーに触れる**



3 **右ハンドル または 左ハンドル キーに触れて、スピーカーを設定する**

右ハンドル：左側スピーカーから通話音声が聞こえます。

左ハンドル：右側スピーカーから通話音声が聞こえます。

4 **戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れてメイン画面に戻る**

設定を変更する(アジャストモード)

外部接続機器を設定する (CONNECT)

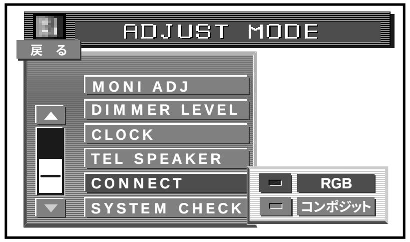
※初期設定は「RGB」です。

CeNET結線対応のナビゲーション接続時は、設定する必要がありません。

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、CONNECT キーに触れる



3 RGB または コンポジット キーに触れて、接続方法を選ぶ

RGB：CeNET結線対応以外のアゼストナビゲーションを接続したとき

コンポジット：他社製ナビゲーションを接続したとき

4 戻る キーに触れてアジャスト画面に戻し、もう一度 戻る キーに触れる

→ メイン画面に戻ります。

接続システムを確認する (SYSTEM CHECK)

1 メニュー画面の SUB キーに触れ、サブメニューの ADJUST キーに触れる

→ アジャスト画面が表示されます。

2 アジャスト画面の ▼ キーに触れてキー表示をスクロールさせ、SYSTEM CHECK キーに触れる



3 開始する または 開始しない キーに触れる

開始する：システムチェックを開始します。

→ システムチェック画面になります。

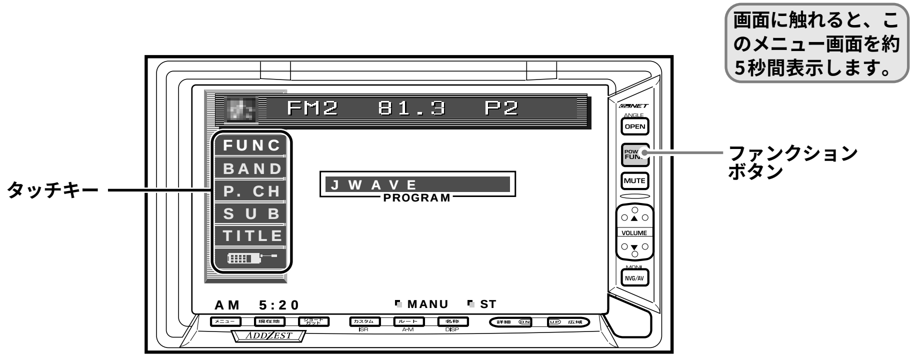
- システムチェックについては、17ページをご覧ください。

開始しない：システムチェックを行わない

→ アジャスト画面に戻ります。

- アジャスト画面の 戻る キーに触れると、元のメイン画面に戻ります。

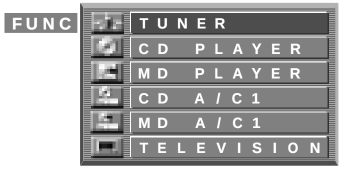
ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションボタン(POWER FUNC)を押す

または、メニュー画面の FUNC キーに触れて TUNER キーを選択する



- 画面に触れるとメニュー画面を約5秒間表示します。

■エリアセレクト機能について…

選局した放送局に対して、自動的に放送局名を表示する機能です。初期設定は、「コウイキカントウ」(広域関東)です。チューナーエリアの選択については、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(36ページ)をご覧ください。

受信バンドを選ぶ

1 メニュー画面の BAND キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ

→ 触れるたびに、バンドが切り換わります。

FM 1 → FM 2 → AM 1 → AM 2 (→ FM 1)

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル)を切り換える

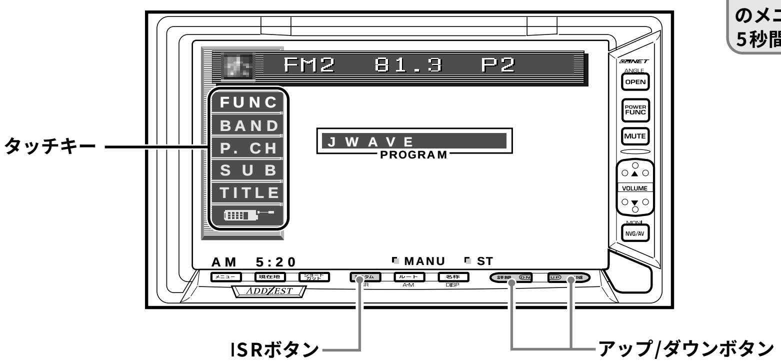
1 メニュー画面の BAND キーに触れ続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える

手動選局(■ MANUを表示)(マニュアル)
↓
自動選局(■ MANUの表示が消える)(シーク)
(→ 手動選局に戻る)

本機の操作

ラジオを聴く

画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。



自動選局する(シーク選局)

1 **メニュー画面の BAND キーに触れ続けて(約1秒間)、自動選局モードにする**

→「■ MANU」表示が消えていると、自動選局です。

2 **アップ/ダウンボタン(詳細 DN UP 広域)を押す**

→ 放送を受信できる周波数で選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 **メニュー画面の BAND キーに触れ続けて(約1秒間)、手動選局モードにする**

→ 手動/自動選局表示が「■ MANU」表示になると、手動選局です。

2 **アップ/ダウンボタン(詳細 DN UP 広域)ボタンを押す**

→ 放送を受信できる周波数に合わせてください。

プリセット選局する

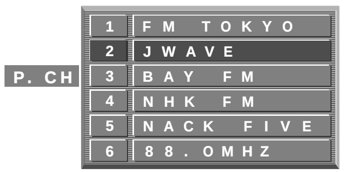
プリセット選局について…

あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「プリセットメモリーする」(次ページ)をご覧ください。

1 **メニュー画面の BAND キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ**

→ 触れるたびに、バンドが切り換わります。

2 **サブメニューの P.CH キーに触れて、プリセットチャンネルキーを表示する**



3 **聴きたい放送局をダイレクトキーより選択する**

ご注意

プリセットチャンネルキーを押し続ける(約2秒間)と、いま聴いている放送がメモリーされます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各6局、計24局です。

1 **自動選局または 手動選局でメモリーしたい放送に合わせる**

詳細 DN または UP 広域

2 **メニュー画面の P.CH キーに触れて、プリセットチャンネルキーを表示する**

3 **メモリーしておきたいプリセットチャンネルキーに触れ続ける(約2秒間)**

→ メモリーされたプリセットチャンネルキー表示の色が変わります。

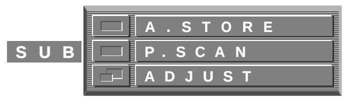
・ビープ音が「ON」に設定されているときは、ビープ音が鳴ります。

自動メモリーさせる(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの A.STORE キーに触れ続ける(約2秒間)**

→ 点灯後、受信した放送を、ダイレクトキー(1～6)にメモリーしていきます。

・自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。

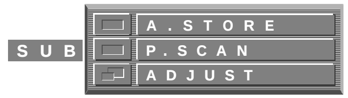
・メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったダイレクト表示には、それまでのメモリーが残ります。

聴きたい放送局を探す(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットキーにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの P.SCAN キーに触れる**

→ プリセットメモリーされている放送局を、順に約7秒ずつ受信します。

■探している放送を受信したら…

もう一度、P.SCAN キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報などをすばやく選局できます。初期設定では、AM1620kHzの交通情報をメモリーしています。

1 **ISRボタン(カスタム ISR)を押す**

→ ISRにメモリーされている放送局を選局します。

■ISRにメモリーするには…

1 **ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局する**

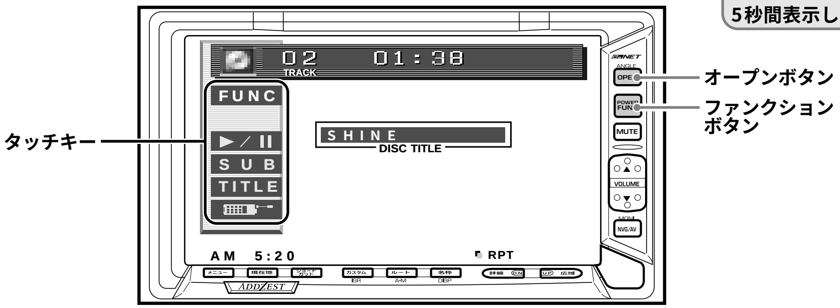
2 **ISRボタンを押し続ける(約2秒間)**

ISRにメモリーされ、ISR 機能状態になります。

■元のモードに戻すには…

もう一度、ISRボタンを押してください。

CD/MDを聴く



画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。

CD を入れる

1 オープンボタン(ANGLE OPEN)を押す

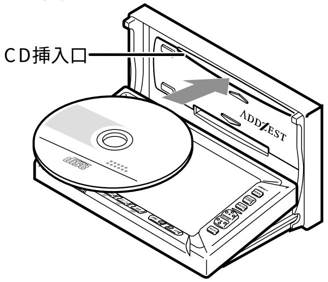
→ オペレーションパネルが開きます。

⚠注 意

オペレーションパネル開閉時に、手や指などを挟まれないようにご注意ください。故障やケガの原因となりますので、CD挿入部に指や異物を入れないでください。

- **すでにCDが入っている場合は入れられません。無理に入れないでください。**
- **セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。**
- **本機は、COMPACT disc DIGITAL AUDIOマーク表示のないCDは使用できません。また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。**
- **CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。**

2 CDを入れる



→ CDを入れると、オペレーションパネルが自動的に閉まり、演奏がはじまります。

・CDを挿入しないと、約30秒後にビープ音を鳴らし、オペレーションパネルが自動的に閉まります。

■シングルCDについて…

シングルCD(8cmCD)を再生するときは、アダプターを使用しないでください。

■ディスク・イン・プレイ機能について…

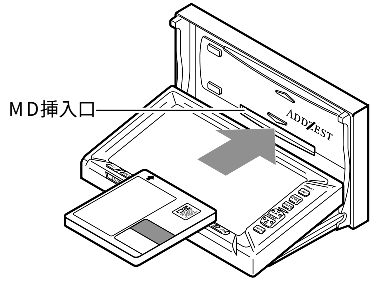
本機の電源が入っていない状態からでも(車側のアクセサリー電源ON時)、オープンボタンを押すことにより、オペレーションパネルが開きます。さらにCD(またはMD)を入れると、自動的に電源が入り演奏をはじめます。

MDを入れる

1 オープンボタン(ANGLE OPEN)を押す

→ オペレーションパネルが開きます。

2 MDを入れる



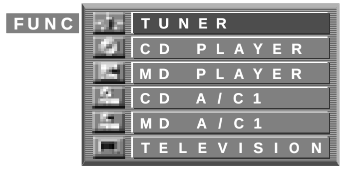
→ MDを入れるとビープ音を鳴らし、オペレーションパネルが自動的に閉まり、演奏がはじまります。

- MDを挿入しないと、約30秒後にビープ音を鳴らし、オペレーションパネルが自動的に閉まります。
- すでにMDが入っている場合は入れられません。無理に入れないでください。
- MDデッキは、Mini Discマーク表示のないMDは使用できません。

すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションボタン(POWER FUNC)を押して、CDまたはMDモードに切り換える

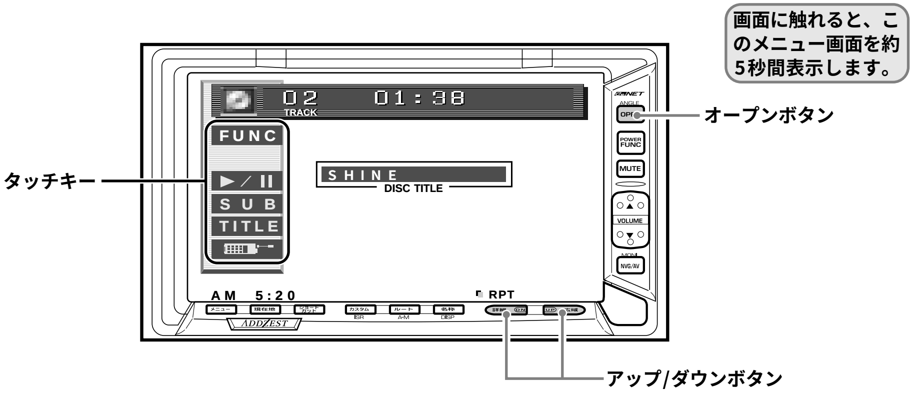
または、メニュー画面の FUNC キーに触れて、モードキーを表示して選ぶ



→ CDまたはMDモードになると、自動的に演奏がはじまります。

ご注意

ディスクの出し入れは確実に行ってください。不安定なディスクの出し入れを行うとオペレーションパネルの開閉ができなくなる場合があります。その場合は、車両側キーをアクセサリー(ACC)電源オフにして、再度電源を入れ直してください。



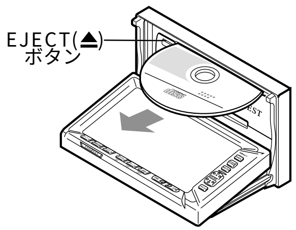
ディスクを取り出す

1 **オープンボタン(ANGLE OPEN)を押す**

→ オペレーションパネルが開きます。

2 **イジェクトボタンを押す**

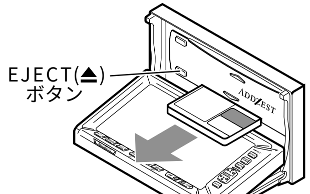
■CDイジェクト時



→ CDがイジェクトされます。

- イジェクトされたCD（12cm)をそのままにしておくと、約15秒後にCDを引き込みます。(オートリロード)
- シングルCDは、オートリロードされませんので、必ず取り出してください。
- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。
- CD以外のモード時にCDイジェクトを行った場合、CDがイジェクトされている間音声が出力されません。(音声ミュートがかかります。)

■MDイジェクト時



→ MDがイジェクトされます。

- イジェクトしたMDはそのまま放置せずに取り出すか、再度挿入し直してください。
- ラジオをお聴きの時に、MDをイジェクトした場合、MDがイジェクトされている間ラジオの音声が出力されません。(音声ミュートがかかります。)

イジェクト後のご注意

イジェクト後は、すぐディスクを取り出してください。

ディスクを取り出したら、必ずオープンボタンを押してオペレーションパネルを閉めてください。
また、オペレーションパネルを開いたままにしておくと、約30秒後にビープ音を鳴らし、自動的に閉まりますのでご注意ください。

バックアップ・イジェクト機能について…

アクセサリー(ACC)電源がOFFの状態または本機の電源がOFFの状態からでも、イジェクトボタンを押すことにより、CDやMDを取り出すことができます。

選曲する

1 **次の曲を聴くときは、アップボタン(UP 広域)を押す**

2 **前の曲を聴くときは、ダウンボタン(詳細 DN)ボタンを2回押す**

- アップボタンを押すと次の曲を演奏します。さらに押すと、押した回数だけ先の曲を演奏します。
- ダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲を演奏します。

■演奏を止める（一時停止）には…

メニュー画面の ►／II キーに触れてください。
演奏を聴きたいときは、もう一度、基本表示画面のプレイ/ポーズキーに触れてください。

早送り/早戻しする

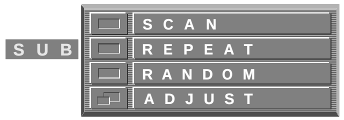
1 **早送りするときは、アップボタン(UP 広域)を押し続ける**

2 **早戻しするときは、ダウンボタン(詳細 DN)ボタンを押し続ける**

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
曲の頭を約10秒間ずつ演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの SCAN キーに触れる**

→ スキャン演奏キーが赤く点灯し、「■ SCN」が表示されます。

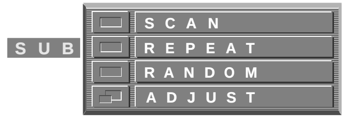
■探している曲が演奏されたら…

もう一度、SCAN キーに触れてください。スキャン表示が消灯して演奏している曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの REPEAT キーに触れる**

→ リピート演奏キーが赤く点灯し、「■ RPT」が表示されます。

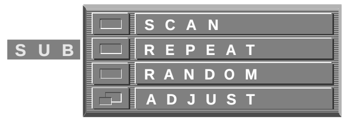
■リピートを解除するには…

もう一度、REPEAT キーに触れてください。リピート表示が消灯して演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について…
演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの RANDOM キーに触れる**

→ ランダム演奏キーが赤く点灯し、「■ RDM」が表示されます。

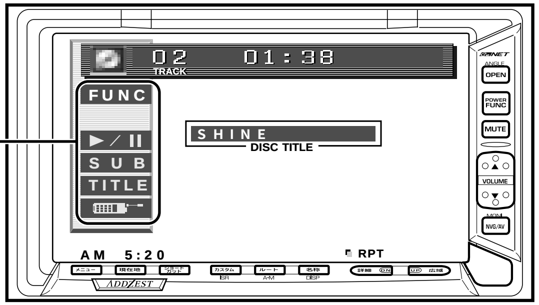
■ディスクの曲順の演奏に戻すには…

もう一度、RANDOM キーに触れてください。ランダム表示が消灯して演奏している曲から通常の演奏になります。

本機の操作

CD/MDを聴く

画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。



ディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルをスクロールさせる

CDテキストまたはMDのタイトルについて…

CDテキストまたはMDにあらかじめ登録されているディスクタイトル曲(トラック)タイトルを、本機のディスプレイに表示します。

•タイトルが入力されていないディスクの場合は、「**NO TITLE**」と表示されます。

• CDテキストの場合は、ディスクタイトル、トラックタイトルおよびアーティスト名を表示します。

• タイトル表示の文字数は10文字です。

■元のメイン画面に戻すには…

TITLE キーに触れてください。

1 **メニュー画面の TITLE キーに触れる**



（MDモード時のタイトル表示）

2 **スクロールさせたいタイトル表示部に触れる**

Time Has C

→ タイトルスクロールインジケータ(◀)が選択したタイトル表示部に移動します。

3 **スクロールインジケータ(◀)に触れる**

→ タイトルスクロールインジケータ(◀)の表示されているタイトルがスクロールします。

• ディスクタイトル(またはトラックタイトル)のスクロールを終えると、最初のタイトル表示状態になります。

ユーザータイトルとCDテキストタイトル表示を切り換える

1 **メニュー画面のときに、ディスプレイボタン(名称 DISP)を押し続ける(約1秒間)**

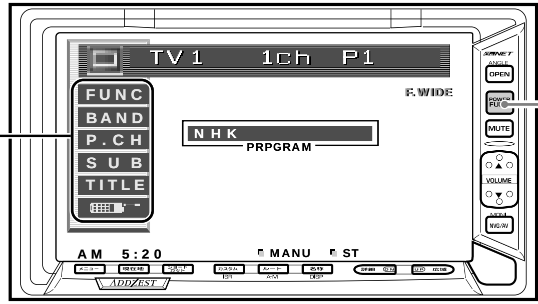
→ 押し続けるたびに、ユーザータイトル表示とCDテキストのタイトル表示を切り換えます

• ユーザータイトルのときは、「**DISC TITLE**」を表示し、CDテキストのときには、「**DISC TITLE**」と「**TRACK TITLE**」を表示します。

• CDチェンジャーモード時は、CDチェンジャーにテキスト機能がある場合にのみ、切り換えることができます。

テレビを見る

画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。



走行中のテレビ映像について…

走行中はテレビ映像を消す安全設計となっており音声のみ聴くことができます。車が停車していて、パーキングブレーキを引いている時のみテレビの映像を見ることができます。

ご注意

パーキングブレーキを解除すると、約5秒間「AUDIO ONLY」画面になります。

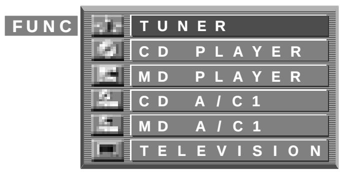
⚠警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

テレビモードを選ぶ

1 **ファンクションボタン(POWER FUNC)を押す**

または、メニュー画面の FUNC キーに触れて TELEVISION キーを選択する



• テレビ映像表示中は、画面に触れるとメニュー画面を表示します。

• サブメニューの 戻る キーに触れるとメニュー画面に戻ります。

受信バンドを選ぶ

1 **メニュー画面の BAND キーに触れて、聴きたいバンドを選ぶ**

→ 触れるたびにに、バンドが切り換わります。

TV 1 → TV 2 → TV 1

自動選局(シーク)と手動選局(マニュアル) を切り換える

1 **メニュー画面の BAND キーに触れ続けて(約1秒間)、選局モードを切り換える**

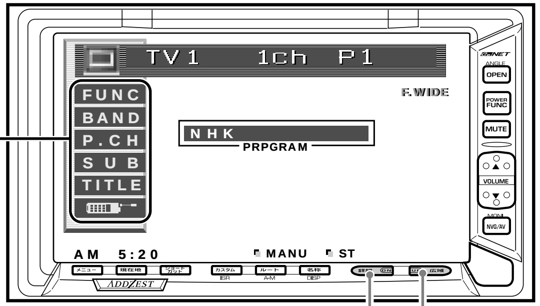
手動選局(■ MANUを表示)(マニュアル)

↓

自動選局(■ MANUの表示が消える)(シーク)

テレビを見る

画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。



タッチキー

アップ/ダウンボタン

自動選局する(シーク選局)

1 **メニュー画面の BAND キーに触れ続けて(約1秒間)、自動選局モードにする**

→「■ MANU」表示が消えていると、自動選局です。

2 **アップボタン(UP 広域)またはダウンボタン(詳細 DN)を押す**

→ 放送を受信できる周波数で選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 **メニュー画面の BAND キーに触れ続け(約1秒間)、手動選局モードにする**

→ 手動/自動選局表示が「■ MANU」表示になると、手動選局です。

2 **アップボタン(UP 広域)またはダウンボタン(詳細 DN)を押す**

→ 放送を受信できる周波数に合わせてください。

プリセット選局する

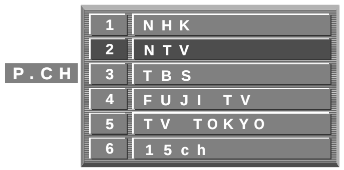
プリセット選局について…

あらかじめメモリーしておき、ワンタッチで放送局を呼び出す機能です。メモリーのしかたについては、「プリセットメモリーする」(次ページ)をご覧ください。

1 **メニュー画面の BAND キーに触れて、見たいバンドを選ぶ**

→ 触れるたびに、バンドが切り換わります。

2 **メニュー画面の P.CH キーに触れて、プリセットチャンネルキーを表示する**



3 **プリセットチャンネルキーに触れて、見たいチャンネルを選ぶ**

ご注意

ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)と、いま見いている放送がメモリーされます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2、の各6局、計12局です。

1 **自動選局または 手動選局でメモリーしたい放送に合わせる**

(詳細 DN) または (UP 広域)

2 **メニュー画面の P.CH キーに触れて、プリセットチャンネルキーを表示する**

3 **メモリーしておきたいプリセットチャンネルキーに触れ続ける(約2秒間)**

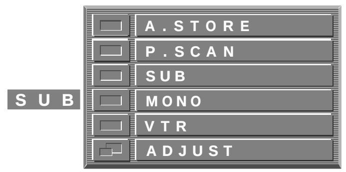
→ メモリーされたダイレクトキー表示の色が変わります。
- ビープ音が「ON」に設定されているときは、ビープ音が鳴ります。

自動メモリーさせる(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送を、6局まで自動的にプリセットメモリーします。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの A.STORE キーに触れ続ける(約2秒間)**

→ 点灯後、受信した放送を、ダイレクトキー(1〜6)にメモリーしていきます。
- 自動メモリーすると、これまでのプリセットメモリーは消去されます。
- メモリーできる放送が6局に満たなかった場合、メモリーされなかったダイレクトキー表示には、それまでのメモリーが残ります。

見たい放送を探す(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットキーにメモリーされているチャンネルを順に受信します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**

2 **サブメニューの P.SCAN キーに触れる**

→ プリセットメモリーされている放送局を、順に7秒ずつ受信します。

■探している放送を受信したら…

もう一度 P.CH キーに触れてください。その時に受信中の放送になります。

副音声を楽しむ

1 **メニュー画面の SUB キーに触れてサブメニューを表示する**

2 **サブメニューの SUB キーに触れる**

→ SUB キーの左側が赤く点灯します。
- 主音声に戻すには、もう一度 SUB キーに触れます。SUB キーの赤い点灯が消えます。

ステレオ放送をモノラルにする

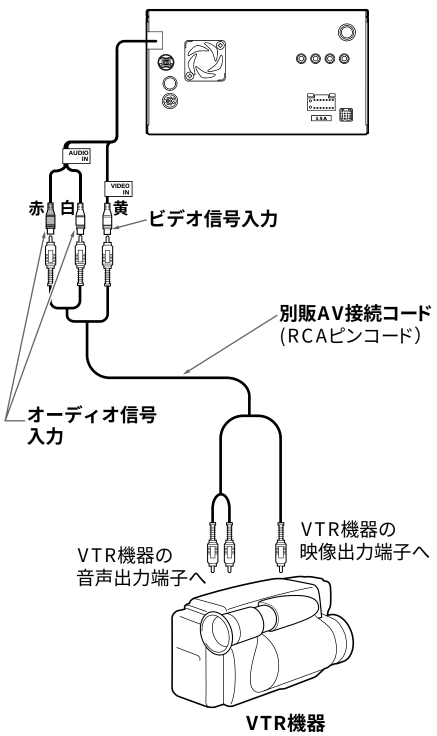
1 **メニュー画面の SUB キーに触れてサブメニューを表示する**

2 **サブメニューの MONO キーに触れる**

→ MONO キーの左側が赤く点灯します。
- ステレオに戻すには、もう一度 MONO キーに触れます。MONO キーの赤い点灯が消えます。

ビデオを見る

ビデオとのつなぎかた



⚠警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

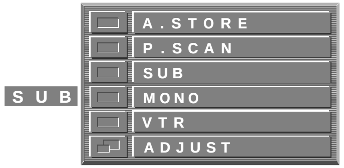
ご注意

テレビ映像同様、VTR接続時も走行中は映像を消す安全設計となっています。音声のみ聴くことができます。車が停止していて、パーキングブレーキを引いている場合のみ、VTR映像を見ることができます。

・映像入力端子と音声入力端子は正しく確実に接続してください。接続には別販のAV接続コード（RCAピンコード）をお買い求めください。

ビデオを見るには

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **VTR キーに触れる**

→ VTRモードになります。

3 **VTR機器側のプレイ操作でVTR映像が表示されます**

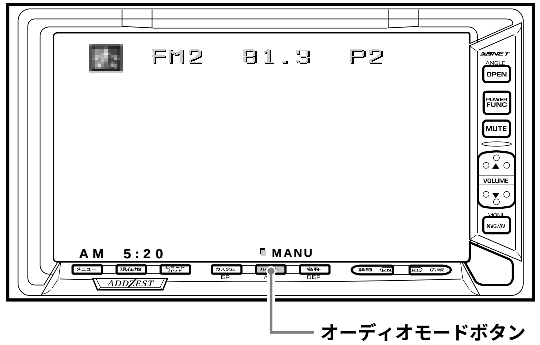
■テレビ映像に戻すには…

1 画面に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面の SUB キーに触れてサブメニューを表示し、TELEVISION キーに触れる



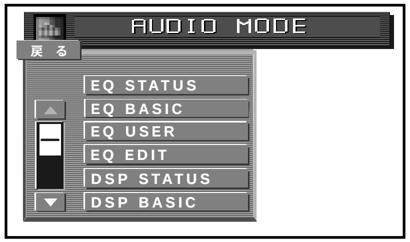
EQ/DSPを設定する



EQ/DSPメニューを表示する

1 **オーディオモードボタン（ルート A-M）を押す**

→ EQ/DSPセレクトメニューが表示されます。



■EQ/DSPセレクトメニュー表示を切り換えるには…

▼キーに触れてください。
前のメニューに戻るには、▲キーに触れてください。

■元のモードに戻るには…

戻る キーに触れてください。

EQの設定を確認する

EQについて…

7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。

1 **EQ/DSPセレクトメニューの EQ STATUS キーに触れる**

→ 現在のEQの設定状況が表示されます。



2 **戻る キーに2回触れて、メイン画面に戻る**

EQ効果をON/OFFする

1 **EQ/DSPセレクトメニューの ON/OFF キーに触れる**

→ 触れるたびにON/OFFが切り換わります。

2 **戻る キーに触れて、メイン画面に戻る**

EQ/DSPを設定する

EQメニューを選ぶ

1 EQ/DSPセレクトメニューの EQ STATUS キーに触れる



2 BASIC または USER キーに触れて、メニューを選ぶ

- EQ/DSPセレクトメニューの EQ BASIC または EQ USER キーで選ぶこともできます。
- BASIC(ベーシック)にはあらかじめ6種類のEQモードがメモリーされています。USER(ユーザー)には、お好みで調整したEQモードをメモリーできます。



(ベーシックメニューの画面)

3 BASIC1 キー等に触れてお好みのEQモードを選ぶ

• EQベーシックメニューについて

タッチキー	表示名	効果
BASIC1	BASS BOOST	重低音の増強
BASIC2	HIGH BOOST	中高域の増強
BASIC3	ACOUSTICAL	中域(人の声)の増強
BASIC4	IMPACT	低域と高域の増強
BASIC5	SMOOTH	しっとりと落ちついた感じ
BASIC6	FLAT	原音。フラットイコライジング

• EQユーザーメニューについて

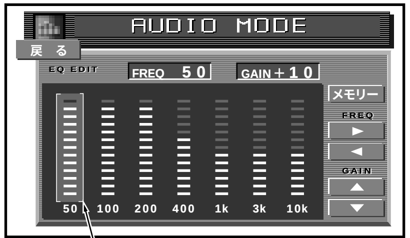
タッチキー	表示名	効果
USER 1〜6	-----------	原音、フラットイコライジング

EQの周波数レベルを調整する

1 EQメニューを選ぶ手順1〜3でベーシックメニューを選ぶ

2 EQモード画面の EDIT キーに触れる

→ EQ調整画面ガ表示されます。



選択された周波数

3 EQ調整画面の ► キーまたは ◄ キーに触れて、調整したい周波数を選ぶ

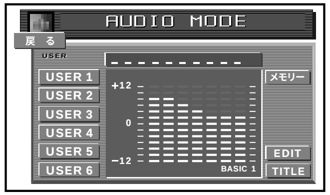
→ 枠囲いが選択した周波数レベル表示に移動します。

4 EQ調整画面の ▲ または ▼ に触れて、レベルを調整する

■EQユーザーにメモリーするには…

メモリー キーに触れて、EQユーザー画面に切り換え、メモリーしたいユーザーキー(USER 1 等)に触れ続けて(約2秒間)ください。

調整レベルがユーザーメニューにメモリーされます。



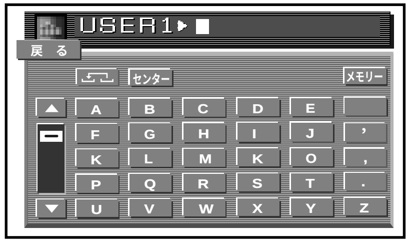
5 EQ調整画面の 戻る キーに触れて、EQモードに戻る

EQユーザーにタイトルをつける

1 EQメニューを選ぶ手順1〜3で、タイトルをつけたいEQユーザーを選ぶ(USER1〜USER6)

2 EQユーザー画面の TITLE キーに触れて、タイトル入力画面を表示する

→ タイトル入力方法の詳細は、60ページをご覧ください。



- 画面に表示される操作キーは以下のようにはたらきます。

▼ ：次ページの入力文字種に切り換えます。

▲ ：前ページの入力文字種に切り換えます。

(消去キー)：入力文字を1文字ずつ消します。

センター ：入力文字を中央に表示します。元の表示位置に戻すには、もう一度触れます。

メモリー ：触れ続けて(約2秒間)入力した文字を登録します。

3 文字キー(A 等)に触れて文字を入力する

4 入力を終えたら、メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)

→ タイトルがメモリーされ、EQモード画面に戻ります。

■タイトルを修正するには…

タイトルを修正したいEQユーザーを選び、「EQユーザーにタイトルをつける」の手順2〜4で修正します。

EQユーザータイトルを削除する

1 EQメニューを選ぶ手順1〜3で、タイトルを削除したいEQユーザーを選ぶ

2 EQ/DSPセレクトメニューで TITLE キーに触れてタイトル入力画面に切り換える

3 センター キーに触れてカーソル位置を右端に移動させた後、(消去キー)キーに触れて1文字ずつ消す

カーソル



4 メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)

本機の操作

EQ/DSPを設定する

DSPの設定を確認する

DSPについて…
音場シミュレーションデホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。

1 **EQ/DSPセレクトメニューの DSP STATUS キーに触れる**

→ 現在のDSPの設定状況が表示されます。



2 **戻る キーに2回触れて、メイン画面に戻る**

DSP効果をON/OFFする

1 **EQ/DSPセレクトメニューの DSP STATUS キーに触れる**

2 **ON / OFF キーに触れる**

→ 触れるたびにON/OFFが切り換わります。



3 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

DSPメニューを選ぶ

1 **EQ/DSPセレクトメニューの DSP STATUS キーに触れる**

2 **BASIC キーに触れる**

• EQ/DSPセレクトメニューの DSP BASIC キーで選ぶこともできます。



3 **BASIC1 キー等に触れて、DSPメニューを選ぶ**

タッチキー	DSP名	効果
BASIC1	HALL	広いホールのような音場
BASIC2	LIVE HOUSE	ジャズクラブより大きめのライブ感覚の音場
BASIC3	CLUB	低音が強調されたクラブのような音場
BASIC4	JAZZ CLUB	天井が低いジャズクラブのような音場
BASIC5	STUDIO	リスニングルームのような音場

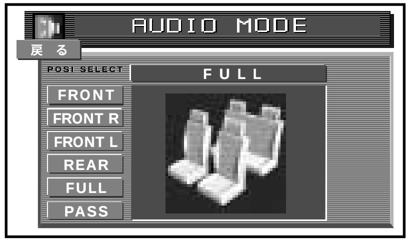
4 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

リスニングポジションを設定する

• **初期設定は「FULL」(全座席)です。**

1 **EQ/DSPセレクトメニューの ▼ キーに触れて、セレクトメニューを切り換える**

2 **POSI. SELECT キーに触れる**



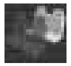
3 **FRONT 等のポジションキーに触れる**

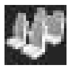
• ポジションは6種類を選択することができます。

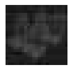

：FRONT
（前座席）


：FRONT R
（前右座席）


：FRONT L
（前左座席）


：REAR
（後座席）


：FULL
（全座席）

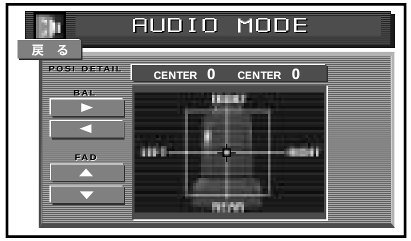

：PASS
（指定なし）

4 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

リスニングポジションを調整する

1 **EQ/DSPセレクトメニューの ▼ キーに触れて、セレクトメニューを切り換える**

2 **POSI. DETAIL キーに触れる**



3 **調整キーに触れて、バランスまたはフェダーを調整する**

BAL
► ◄ ：左右スピーカのバランスを調整します。

FAD
▲ ▼ ：前後スピーカーのバランスを調整します。

4 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

本機の操作

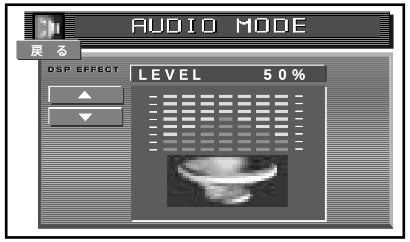
EQ/DSPを設定する

DSPエフェクトを調整する

エフェクト機能について…
音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。
本機は反射音の効果量を変えられます。

1 **EQ/DSPセレクトメニューの▼キーに触れて、セレクトメニューを切り換える**

2 **DSP EFFECT キーに触れる**



3 **▲ または ▼ キーに触れて、レベルを調整する**

4 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

聴こえにくい音を強調する/ヴォカルをカットする

コンプレッサー機能について…
小さい音量のときに聴こえにくくなる小さいレベルの音を強調して、自然に聞えるようにします。

ヴォーカルカットについて…
曲のヴォーカル部分だけの音量を小さくします。

1 **EQ/DSPセレクトメニューの▼キーに触れて、セレクトメニューを切り換える**

2 **DSP COMP キーに触れる**



3 **COMP1 等の選択キーに触れて機能を選ぶ**

- COMP1：小さい音量のときに聴えにくくなる小さなレベルの音を強調します。
- COMP2：COMP1より更に強調します。
- VOCAL CUT：曲のヴォーカル部分だけの音量を小さくします。
- OFF：コンプレッサー機能をOFFします。

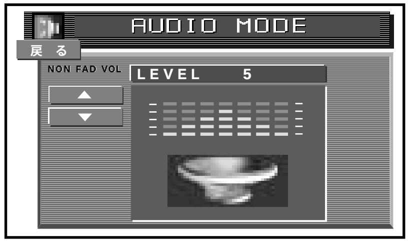
4 **戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

ノンフェダーボリュームを調整する

ノンフェダーボリュームについて…
セット後部のノンフェダー出力へ接続したアンプ等の出力ボリュームレベルの調整を行います

1 **EQ/DSPセレクトメニューの▼キーに触れて、セレクトメニューを切り換える**

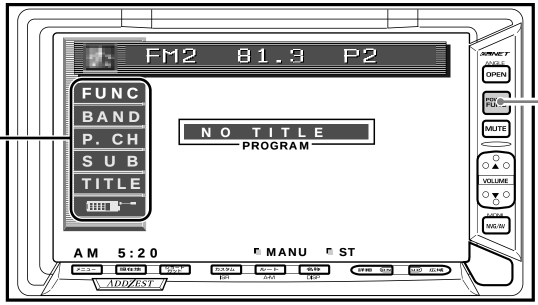
2 **NON FADER VOL キーに触れる**



3 **▲ または ▼ キーに触れて、出力レベルを調整する**

4 **調整が終えたら、戻る キーに触れて、EQ/DSPセレクトメニューに戻る**

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオの放送曲やテレビの放送局及びCD(チェンジャー時)にタイトルを付け、受信時やCDチェンジャー演奏時に表示させることができます。(ラジオ、テレビ、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- 放送局名(チューナー)：30タイトル
- テレビ放送名　　　：15タイトル
- 6枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名：60タイトル
- 12枚チェンジャーにメモリーできるCDのディスク名：50タイトル
- CD：100タイトル

1 **タイトルをつけたいラジオ局、テレビ局を受信する**
またはCDディスクを演奏する

ご注意

ラジオ、テレビでタイトルが入力できるのは、エリアセレクトでユーザータイトルを選択している時だけです。

- チューナーエリアの切り換えかたは、「チューナーエリアを設定する」(36ページ)「テレビエリアを設定する」(37ページ)をご覧ください。

2 **画面に触れて、メニュー画面にする**

3 **メニュー画面の TITLE キーに触れる**

→ タイトル入力画面になります。



3 **画面に表示されている文字、記号キー(A 等)に触れて入力する**

・入力できる文字数は、10文字です。

4 **タイトルを入力したら メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)**

→ タイトルがメモリーされ、元のモード画面に戻ります。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーはすべて消去されますのでご注意ください。

入力文字種類

- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? α * # $ % & ¥ + − × / =( )〈 〉" → ← ↑ ↓ ↔ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ ♯ ♭ ♪ ♪ 𝅘𝅥𝅯 𝅘𝅥𝅯
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「 」

■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

- **ラジオ局タイトルの場合プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。**
- **ディスクタイトルの場合演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。**

タイトルをイージーインプットする

イージーインプットについて…

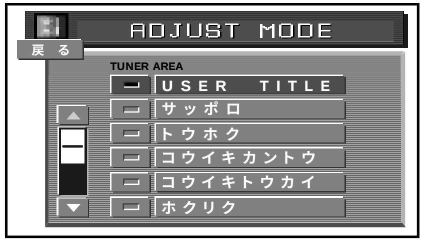
本機は、チューナーエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリッセットチャンネルにメモリーされている分を「USER TITLE」にコピーすることができます。

1 **ラジオモードまたはテレビモードに切り換えて、メイン画面の SUB キーに触れ、 ADJUST キーに触れる**

- 受信エリアについては、放送局の「チューナーエリアを設定する」(36ページ)「テレビエリアを設定する」(37ページ)をご覧ください。

2 **TUNER AREA または TV AREA キーに触れて、設定するエリアを選ぶ**

- 戻る キーに触れると、アジャストメニュー画面に戻ります。



3 **イージーインプットしたいエリア表示キーに触れる**

コウイキカントウ

4 **メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)**

→ 選択したエリアのタイトルを「**USER TITLE**」に登録します。

5 **戻る キーに2回触れる**

→ 元のモードに戻ります。

タイトルをつける

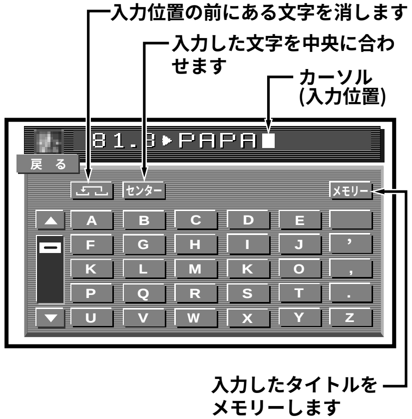
タイトルを削除する

1 削除したいタイトルのラジオ局、テレビ局を受信する
またはCDを演奏する

2 TITLE キーに触れる

→ タイトル入力画面が表示されます。

3 タイトル入力画面の センター キーに触れて、カーソル位置をタイトル表示の右側に移動させる

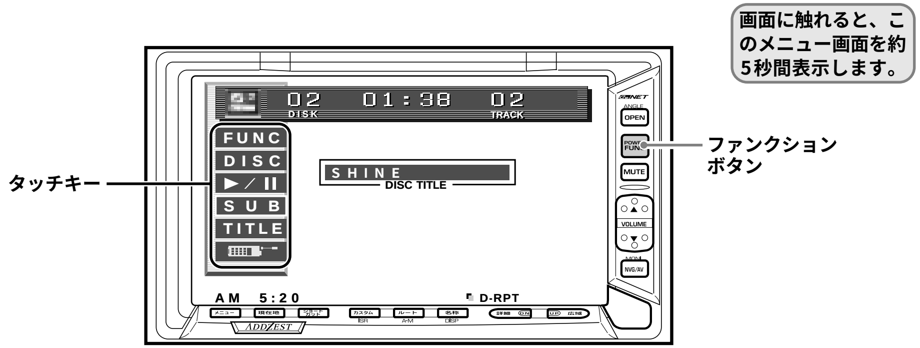


4 [⌐⌐] キーに触れて、タイトルを1文字ずつ消す

5 メモリー キーに触れ続ける(約2秒間)

→ メニュー画面に戻り、「**NO TITLE**」を表示します。

CD/MDチェンジャーを操作する



■*CD/MDチェンジャーについて…*

本機は、別販のCeNET結線対応CDチェンジャーまたはMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

■*CDチャンジャーについて*

- CDチェンジャーにマガジンがはいっていないときは、「**NO MAG**」、マガジン内にCDが入っていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- CeNET結線対応ナビゲーション実行中のCD-ROMを選択した場合には、「**CD-ROM**」と表示されます。
- ディスクNo.が点灯していないダイレクトキーに触れても受け付けません。

■*MDチャンジャーについて*

- MDチェンジャーにMDがはいっていないときは、「**NO DISC**」と表示されます。
- ディスクNo.が点灯していないダイレクトキーに触れても受け付けません。

■*タイトルのスクロールについて*

CDテキストやMDにあらかじめ登録されているディスクタイトルとトラックタイトルをスクロールさせたい場合には、「ディスクタイトルまたはトラックタイトルをスクロールさせる」(48ページ)をご覧ください。

■*CDチェンジャー(MDチェンジャー)を2台接続したときは…*

ファンクションボタンを押して演奏するチェンジャーを選択してください。または、メイン画面の FUNC キーに触れてモードキー(CD A / C1)に触れてください。
本機は、CDチェンジャー、MDチェンジャーを合わせて2台までコントロールすることができます。

設定について詳しくは、チェンジャーの取扱説明書をご覧ください。

モードを選ぶ

1 ファンクションボタン(POWER FUNC)を押して、メイン画面のCDまたはMDチェンジャーモードを選ぶ

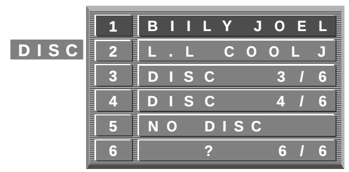
または、メニュー画面の FUNC キーに触れて、モードキー(CD A / C1 等)を表示して選ぶ

→ CD(MD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

演奏するディスクを選ぶ

1 メニュー画面の DISC キーに触れる

→ DISC キーの右側にダイレクトキー(ディスク1〜6)が表示されます。



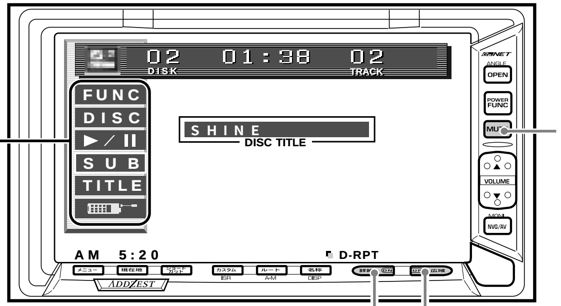
- 12枚CDチェンジャーの場合は、▼キーに触れるとディスク7〜12のダイレクトキー表示に切り換わります。

2 ダイレクトキーに触れて、ディスクを選ぶ

外部機器の操作

CD/MDチェンジャーを操作する

画面に触れると、このメニュー画面を約5秒間表示します。



選曲する

1 次の曲を聴くときは、アップボタン(UP 広域)を押す

2 前の曲を聴くときは、ダウンボタン(詳細 DN)を2回押す

- さらにアップボタンを押すと、押した回数だけ先の局を演奏します。
- ダウンキーを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の局を演奏します。

■消音（ミュート）するには…

ミュートボタン(MUTE)を押してください。

- 通常の音量に戻すときは、もう一度ミュートボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、アップボタン(UP 広域)を押し続ける

2 早戻しするときは、ダウンボタン(詳細 DN)を押し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 メニュー画面の ▶／II キーに触れる

→「PAUSE」が表示されて演奏が止まります。

■一時停止を解除するには…

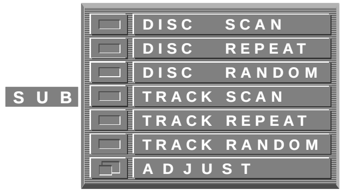
もう一度、 ▶／II キーに触れてください。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…

CD(MD)チェンジャー内のCDの全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 メニュー画面の S U B キーに触れて、サブメニューを表示する



2 サブメニューの TRACK SCAN キーに触れる

→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ SCN」が表示されます。

■探している曲が演奏されたら…

もう一度、 TRACK SCAN キーに触れてください。スキャン演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について…

1台のCD(MD)チェンジャーに収納されている、全ディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 メニュー画面の S U B キーに触れて、サブメニューを表示する



2 サブメニューの DISC SCAN キーに触れる

→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ D SCN」が表示されます。

■ 探しているCD(MD)が演奏されたら…

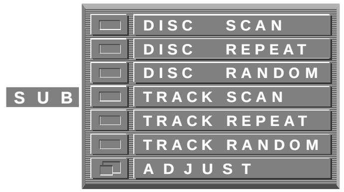
もう一度、 DISC SCAN キーに触れてください。ディスクスキャン演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…

いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

1 メニュー画面の S U B キーに触れて、サブメニューを表示する



2 サブメニューの TRACK REPEAT キーに触れる

→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ RPT」が表示されます。

■通常の演奏に戻すには…

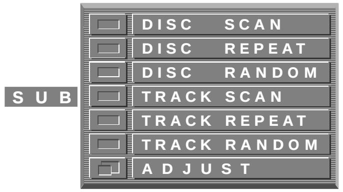
もう一度、 TRACK REPEAT キーに触れてください。リピート演奏表示が消えて演奏中の曲から通常の演奏になります。

CD/MDチェンジャーを操作する

1枚のディスクを繰り返し聴く（ディスクリピート演奏）

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの DISC REPEAT キーに触れる**

→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ D-RPT」が表示されます。

■通常の演奏に戻すには…
もう一度、DISC REPEAT キーに触れてください。ディスクリピート演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

ランダム演奏について…
演奏中のディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**



2 **サブメニューの TRACK RANDOM キーに触れる**

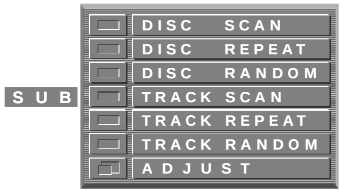
→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ RDM」が表示されます。

■ディスクの曲順の演奏に戻すには…
もう一度、TRACK RANDOM キーに触れてください。ランダム演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに聴く（ディスクランダム演奏）

ディスクランダム演奏について…
1台のCD(MD)チェンジャーに収納されている全ディスクの全曲を順不同に演奏します。

1 **メニュー画面の SUB キーに触れて、サブメニューを表示する**

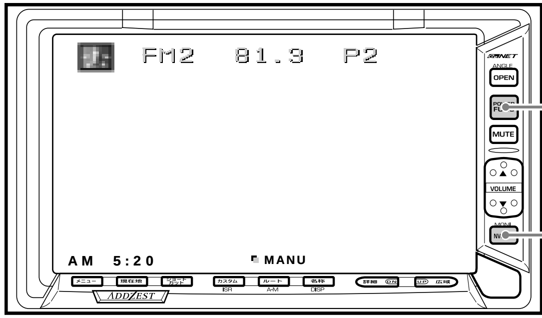


2 **サブメニューの DISC RANDOM キーに触れる**

→ 選択したキーの色が変わり、画面下に「■ D-RDM」が表示されます。

■ディスク順の演奏に戻すには…
もう一度、DISC RANDOM キーに触れてください。
ディスクランダム演奏表示が消えて、演奏中の曲から通常の演奏になります。

DVDビデオを見る



DVDビデオモードを選ぶ

DVDビデオについて…

DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションを接続した場合には、ナビゲーション側のリモコン操作によりDVDビデオを見ることができます。

1 ナビゲーション本体にDVDビデオディスクを挿入する/または、DVDビデオディスクが挿入されているときは、ナビゲーション側リモコンのプレイ/ポーズボタンを押す

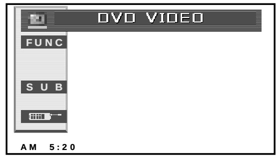
→DVDビデオ映像が表示されます。

・操作方法の詳細については、DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

■元のモードに戻すには…

ファンクションボタン(POWER FUNC)を押すか、

または、メニュー画面の FUNC キーに触れて、サブメニューを表示させてモードキーに触れてください。

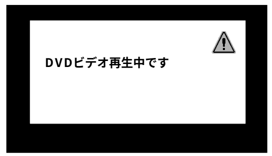


ご注意

- **DVDビデオモード時、DVDビデオディスクからナビゲーションディスクに交換したときは、NAVI/AV切換ボタンを押してナビゲーションモードにしてください。**

MONI NVG/AV

- **ナビゲーション画面のときにナビゲーションディスクからDVDビデオディスクに交換すると、以下の画面を表示します。**

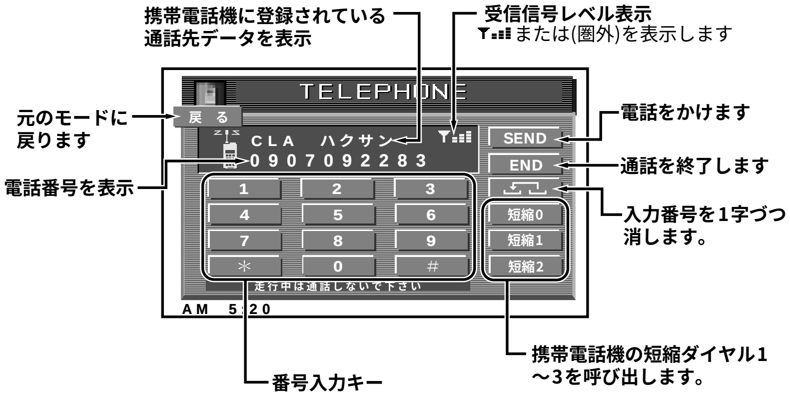


この画面になったときは、NAVI/AV切換ボタンを押してDVDビデオ映像画面に切り換えてください。

MONI NVG/AV

外部機器の操作

携帯電話機を操作する



⚠警告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

画面表示について

本機に接続したTEL-LINKユニットのリモコン操作に対応して、色々なメッセージ(ダイヤル検索、リダイヤル等)を表示します。



電話モードを選ぶ

1 メニュー画面で［電話］キーに触れる

番号を入力して電話をかける

1 番号入力キー(1 〜 0)に触れて、電話番号を入力する

2 番号を入力したら、 SEND キーに触れる

短縮ダイヤルで電話をかける

1 短縮ダイヤルキー(短縮0 等)に触れて、電話番号を呼び出します

2 電話番号が表示されたら、 SEND キーに触れる

携帯用オーディオを聴く

AUXモードにする

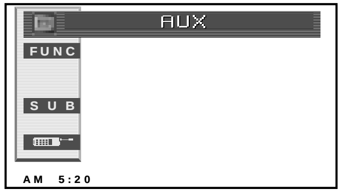
AUX モードについて…

別販のCeNET結線対応AUX 入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

1 AUX 入力ユニットのリードスイッチを押して、AUX モードにする

■元のモードに戻すには…

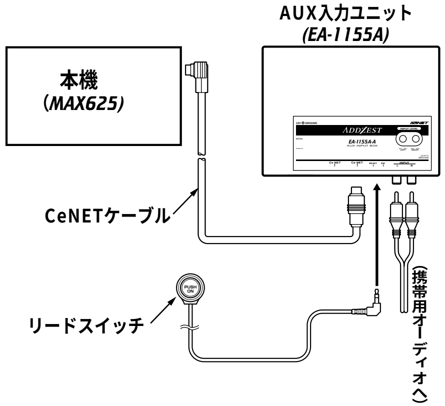
本機のファンクションボタン(POWER FUNC)を押すか、またはメニュー画面の FUNC キーに触れて、サブメニューを表示させてモードキーに触れてください。



■DVDハイブリッドナビゲーション(NAX960DV/NAX010VD/NAX020VD)における音楽CDの演奏について…

- AUXモードになります。
- NAVI/AV切換ボタン(MONI NVG/AV)を押してナビゲーション画面に切り換えると、ナビゲーション側のCD演奏表示画面になります。詳しくは、ナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

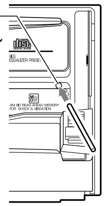
AUX入力ユニット接続のしかた



外部機器の操作

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	症　状	原　因	処置
共通	電源が入らない/音が出ない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど、接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを細い棒などで押してください。 リセットボタン (オペレーションパネルを開いた状態)  リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等がすべて消去されます。本機に接続している機器のリセットボタンも合わせて押してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
CD	CDがすぐ出てしまう	CDを表裏逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている	CDをやわらかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	CDが入らない	本機の中にCDが入っている	イジェクトボタンを押してCDを取り出してからCDを入れてください。
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	イジェクトボタンを押して、MDを取り出してから、MDを正しく入れ直してください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。

	症　状	原　因	処置
TV	映像が出ない	パーキングブレーキがかかっていない	パーキングブレーキが完全にかかっていることを確認してください。
		走行中である	走行中、映像は映りません。駐車してからお楽しみください。(パーキングブレーキを引いてください)
		ファンクションがTVモードになっていない	テレビを見るときには、ファンクションボタンで、TV画面になっているか確認してください。
		モニターOFFになっている	ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してモニターONにしてください。
	映像が不鮮明	受信状態が悪い	山間や建物の陰などで、電波が十分きていないことが考えられます。電波の状態が良いところで、もう1度確認してください。
	画面が暗い	明るさ調整が不十分	明るさ調整が正しく調整されているか確認してください。
		使用状況が悪い	車内温度が0℃以下、または60℃以上になっている場合が考えられます。車内温度を適温(25℃前後)にして確認してください。
		自動車のライトが点灯している	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。(昼間でも、自動車のライトを点灯すると、画面は暗くなります)
	色が薄い 色あいが悪い	色の調整が不十分	色あい、色の濃さが正しく調整されているか確認してください。
	映像が2重、3重になる	受信状態が悪い	山やビルからの反射電波の影響が考えられます。場所や方向を変えて確認してください。
	映像にはん点やしま模様が出る	妨害電波がある	自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響(妨害電波)が考えられます。場所を変えて確認してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

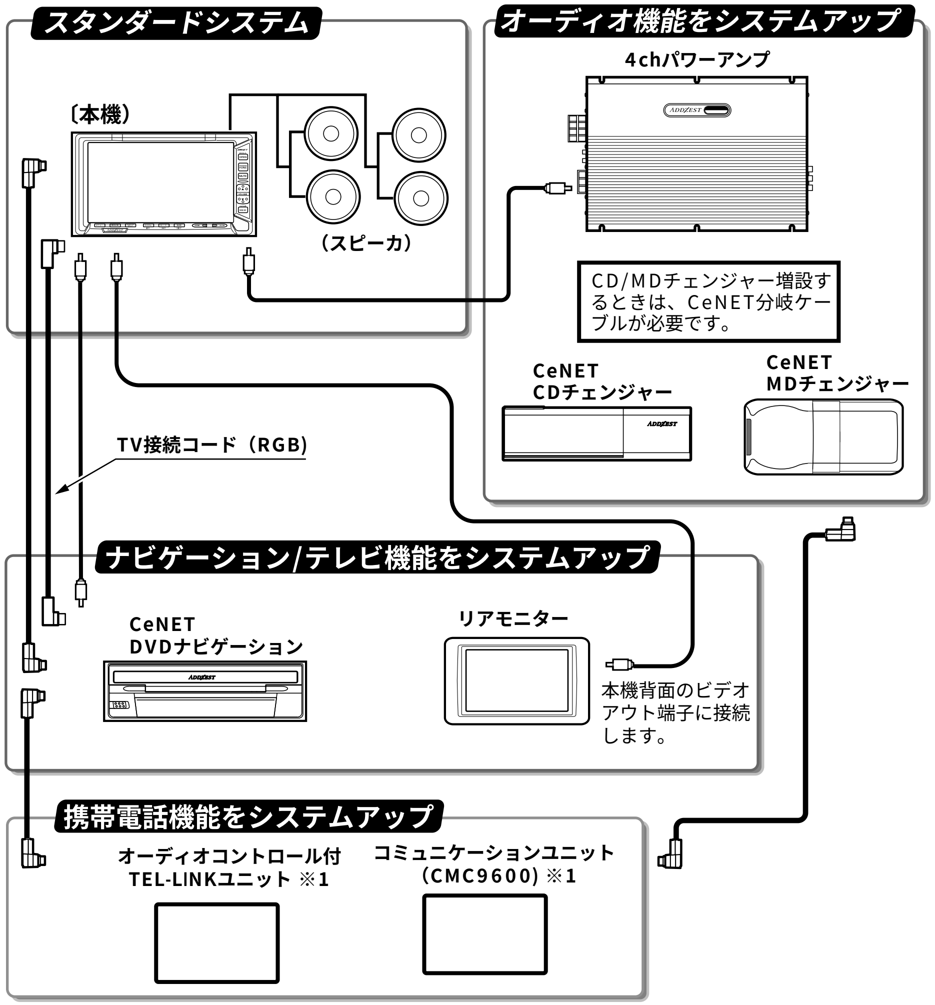
本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CD	ERROR2	CDデッキのメカが故障しているとき、または誤動作しているときぼ表示	CDイジェクトボタンを押してください。復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
	ERRORH	CDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	CDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
MD	ERROR2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDイジェクトボタンを押してください。復帰しない場合は、販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。 傷やソリのないCDと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。
それでも復帰しない場合は、本体のアクセサリ(ACC)電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

システムアップについて

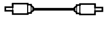
本機はCeNETマークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



※1.TEL-LINKユニットおよびコミュニケーションユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

※2.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。


：CeNETケーブルで結線します。(※2)
CeNETケーブルの最大配線長は20m以下です。システムを拡張するときは、次ページの「CeNETケーブルについて」のケーブル長をご確認ください。


：RCAピンケーブルで結線します。(※2)

システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■ CeNET 接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET結線対応CDチェンジャー	5m <オス⇔オス>
CeNET結線対応MDチェンジャー	5m <オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1.0m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス⇔メス>

<>内は、コネクターの形状を表しています。

ナビゲーション接続時のご注意

本機に接続するナビゲーションの種類によって、以下の制約事項がありますのでご注意ください。

●CeNET結線対応のナビゲーションを接続した場合

※DVDハイブリッドナビゲーションNAX020VD、NAX010VD、NAX960DVを接続したときは、オーディオ画面のグレードアップはしません。また、ナビゲーションに付属のリモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作をしてください。

※DVDナビゲーションNAX950DV(ロードエクスプローラーDV1.0)を接続すると、オーディオ画面がグレードアップします。この場合、CCDカメラは接続できません。
またグレードアップ時の操作説明は、NAX950DVに付属の**「オーディオ/ビジュアルグレードアップ操作説明書」**をご覧ください。（この操作説明書ではMAX4555zに対して説明してありますがMAX615、MAX625も共通です。）
ロードエクスプローラーDV1.1（バージョンアップROM）に交換されますと、グレードアップは解除され、MAX625本来のオーディオ画面になります。この場合、CCDカメラを接続することができます。

●CeNET結線対応以外のナビゲーションを接続した場合(アゼストナビゲーションNAX9600/NAX9500等)

※**本機でナビゲーションを操作することはできません。ナビゲーションに付属のリモコンで操作してください。また、経路誘導等の音声案内は、本機から出力されません。**

※本機のミニDIN8P端子には接続しないでください。

※ナビゲーションの映像出力を本機背面のナビゲーション入力端子（RGB）に接続し、「外部接続機器を設定する(CONNECT)」（40ページ）の設定を「**RGB**」に切り換えてください。

●他社製ナビゲーションを接続する場合

※ミニDIN8Pの端子に変換コードCCA-389-500を使用して接続してください。このときの「外部接続機器を設定する(CONNECT)」（40ページ）の設定を「**コンポジット**」に切り換えてください。

仕　様

■TVチューナー部

受信チャンネル　：VHF 1～12ch
（90～220MHz）
：UHF 13～62ch
（470～770 MHz）
最大感度　：VHF 37dBμV以下
：UHF 37dBμV以下

■LCDモニター部

画面寸法　：6.5型
（143.4mm×79.326mm）
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス駆動方式
画素数　：280,800画素
（1200×234）

■CDプレーヤー部

周波数特性　：5Hz～20kHz（JEITA）
SN比　：98dB（JEITA）
セパレーション　：80dB
高調波ひずみ率　：0.01%（JEITA）
出力レベル　：2.0V
（ラインアウト負荷10kΩ）

■MDプレーヤー部

周波数特性　：20Hz～20kHz（JEITA）
SN比　：90dB（JEITA）
セパレーション　：80dB
高調波ひずみ率　：0.01%（1kHz）
出力レベル　：2.0V
（ラインアウト負荷10kΩ）

■FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90 .0MHz
実用感度　：11dBf（新IHF）
50dBクワイティング感度
：15dBf（新IHF）
SN比　：70dB（IHF・A、LPF）
周波数特性　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　：35dB（1kHz）
高調波ひずみ率　：0.4%（1kHz）
出力レベル　：0.5V
（ラインアウト負荷10kΩ）

■AMチューナー部

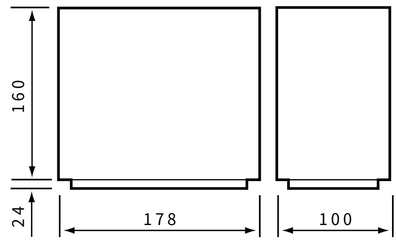
受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　：26dBμ
SN比　：50dB

■オーディオアンプ部

定格出力　：17W×4
（20Hz～20kHz、1%、4Ω）
最大出力　：40W×4（JEITA）
適合インピーダンス：4Ω（4Ω～8Ω）

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：4.0A（1W時）
ヒューズ定格　：15A
外形寸法(本体)　：178（W）×100（H）×184（D）mm
[取付寸法160(D)mm]
質量(本体)　：3.2kg



■付属品

- 取付キット 1式
- 電源コード 1
- 取扱説明書 1
- 取付説明書 1
- ダイバーシティアンテナ 1式
- 修理相談窓口リスト 1
- 保証書 1

＊上記の仕様および外観は、予告なく変更する場合があります。またこの説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室　〒335-0001 埼玉県戸田市上戸田 50
フリーダイヤル　0120-112-140（土・日・祝・祭日を除く
9：00〜12：00、13：00〜17：30）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製 造 番 号	

お客様へ……　ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in Japan 2002/4(CL.K)　　280-7833-00